

吐喝喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

教授 農學士 河越重紀

緒言 目次

第一章	位置	九七
第二章	地勢	九七
第三章	氣象	九八
第四章	中之島自生植物	一〇三 一三三 一三七
第一節	中之島自生植物目錄	一〇三
第二節	余等以前ノ中之島植物ノ調査	一二八
第三節	中之島自生植物ノ數	一三〇
第四節	中之島植物中ノ未詳品及ビ疑問品	一三一
第五節	中之島自生植物中ノ奄美大島及ビ沖繩分子	一三四
第五章	中之島ノ植物組成區	一三七 一四三
第一節	森林區	一三七
(甲)	谿谷森林區	一三八
(乙)	海岸林區	一四〇

吐喝喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

第二節	草原區	一四〇
第三節	耕地區	一四二
第四節	沼澤區	一四二
第五節	砂濱區	一四三
第六節	山岳區	一四三
第六章	中之島ノ栽培植物及ビ其利用	一四三
第七章	中之島自生經濟植物及ビ其利用	一五一
第八章	寶島自生植物	一六一
第一節	寶島自生植物目錄	一六一
第二節	寶島自生植物ノ數	一七八
第三節	寶島自生植物中ノ新種及ビ未詳品	一七九
第四節	寶島自生植物中ノ奄美大島及ビ沖繩分子	一七九
第九章	寶島ノ植物組成區	一八二
第一節	森林區	一八二
(甲)	濕地林區	一八三
(乙)	海岸林區	一八三
第二節	草原區	一八四
第三節	砂濱區	一八五

第四節 礁 濱 區	一八五
第五節 耕 地 區	一八六
第十章 寶島ノ栽培植物及ビ其利用	一八七
第十一章 寶島自生經濟植物及ビ其利用	一九一
結 論	一九七
圖版說明	二〇四
版 中之島鬱林ノ寫真	二〇五

○緒 言

大隅國屋久島ヨリ同國奄美大島ニ至ル間、即大略東經百三十度ヨリ百二十九度マデ、北緯三十度ヨリ二十九度マデノ間ニ於テ、東北ヨリ西南ニ向ヒテ、斜ニ連ナル大小十數個ノ島嶼アリ、之ヲ吐噶喇群島ト稱ス、其内ニテ口之島、中之島、臥蛇島、諏訪瀨島、平島、惡石島及ビ寶島ノ七島ヲ合セテ寶七島、或ハ單ニ七島ト稱ス、元ハ薩摩國川邊郡ノ管下ニアリシヲ以テ、川邊七島ノ稱アリシガ、明治二十九年ヨリ大島郡ニ編入シ、此群島ヲ離レテ北方ニ散在スル竹島、硫黃島及ビ黑島ノ三島ヲ加ヘ、大島郡十島村ト稱シ、乃チ十島村役場ヲ中之島ニ置ク。

余ハ明治四十三年八月校命ニ依リ、當時奄美大島近海ノ測量ニ從事セシ帝國軍艦葛城ニ便乗シ、此群島ノ植物調査ヲ行ヒタリ、軍艦行動ノ都合上、余ノ親シク上陸滯留シテ調査スルヲ得シハ中之島及ビ寶島ノ二島ノミナリキ、然リト雖モ右二島ニ就キテノ調査ノ結果ヲ見ルニ、此列

島ハ植物分布上南九州ト大島沖繩諸島トノ連鎖ヲ爲セル觀アル事、此列島ノ北ニ属スル中之島ト南ノ端ナル寶島トニ因リテ植物ノ種類ニ多少著シキ差異アル事ナド、植物地理學上興味アル點少カラズ。

右調査ニ依ル本群島植物目錄等ハ夙ニ之ヲ作り、當校植物學教室ニ保存セシガ、今回當校ニテ學術報告ノ發刊セラル、ニ當リ、他日斯學ノ參考ニ供セン爲、更ニ精査訂正ヲ加へ、茲ニ於テ之ヲ公ニスルコトナセリ。

顧ルニ、渡島ノ當時、余ハ未ダ該地方ノ植物ニ精通セズ、尙未知、疑問ノ品少カラザリキ、即余ガ兩島ニ於テ親シク目撃シ、本文ニ記スル所ノ植物總數五百〇四種ノ内、(S)章ヲ附スル三種ハ、余ガ恩師理學博士白井光太郎氏ニ質シ、其教示ニ從ヒシモノ、(T)章ヲ附スル三種ハ田代安定氏ノ鑑定ニ從ヘルモノ、(M)章ヲ附スル四種ハ牧野富太郎氏ニ質シタルモノ、(N)章ノ一種ハ同氏ガ新種ト認め、其學名ヲ創定セラレシモノ、(H)章ヲ附スル四十六種ハ恩師白井博士ノ懇篤ナル盡力ト理學博士早田文藏氏ノ周密ナル鑑定トニヨリ明確トナリシモノナリ、乃本文ヲ公ニスルニ當リ、上記ノ諸先輩ニ對シ、謹デ感謝ノ誠意ヲ表ス、其他ノ植物ニ至リテハ、余ノ淺學ヲ顧ミズ、自ラ反復精査ノ上斷定セシモノナリ。

尙本調査ヲ爲スニ當リ、余等ノ便乗セシ軍艦葛城ニ當時艦長タリシ海軍大佐土田彗太郎氏、副長タリシ海軍中佐淺川範麿氏、及當時中之島及寶島ニ於テ測量監督ニ從事セラレシ海軍水路大監岸田吉三郎氏其他海軍將校諸氏、竝ニ余ト終始行ヲ共ニシ、動物採集ニ從事セラレシ本校教授岡島銀次氏ハ、間接或ハ直接ニ、余ノ事業ノ爲ニ多大ノ便宜ヲ計ラレタリ、記シテ以テ永ク

深謝ノ意ヲ銘ス、尙又當時當校植物學教室ノ助手タリシ上原協氏ハ余ト同行シ、採集竝ニ標本製作ニ就キ、常ニ助力セラレタリ、茲ニ感謝ノ意衷ヲ述ブ。

本文ニ尙補正スベキ點多クアラシコトヲ恐ル、例ヘバ中之島及ビ寶島產自生植物中九州南端以北ニ無キ分子ナリト余ノ認メシモノ、或ハ後ニ其存在ヲ發見セシ人アリヤモ計リ難ク、又余ガ調査ノ際或ハ見落シ、或ハ野帳ニ記シ漏レタルモノ無キヤ計リ難シ、諸彥願クハ余ガ爲ニ批正ノ勞ヲ惜ムナカラシコトヲ。

## 第一章 位 置

中之島ハ該郡島ノ最北ナル口ノ島ノ西南六海里ノ所ニアリ、此島ノ中央ハ東經百二十九度五十一分十秒、北緯二十九度五十一分三十秒ニ當リ、周廻七〇一里ニシテ、面積ハ一九七七方里ナリ。寶島ハ此群島ノ最南ニ位シ、其ノ中央ハ東經百二十九度十三分、北緯二十九度九分ニ當リ、周廻三〇三里ニシテ、面積ハ〇四一一方里ナリ、尙本島ノ東六分、北五分ノ所ニ小寶島(島子島)在リ、又其西十分、南二十一分ノ所ニ橫當島及上根ヶ嶼アリ、何レモ寶島ニ屬ス。

## 第二章 地 勢

此列島ハ霧島火山帶ノ薩摩國開聞崎ヨリ海ニ入り、更ニ海上ニ表ハレ、竹島、硫黃島、口之永良部島等ニナリタルモノ、續キニシテ、何レモ皆火山島ナリ、殊ニ諏訪瀨島ノ如キハ今尙屢々盛ナル噴煙アリ、又中之島モ頂上ヨリ多少噴煙シ、硫黃ヲ生産ス。

中之島ハ火山岩ヨリ成リ、土壤ハ火山灰ナリ、中央ニ圓錐形ノ火山アリ、島民之レヲ御嶽ト云フ

頂上ハ海拔一千〇三十米突ニシテ、本群島中ノ最高峯ナリ、頂上ヨリ少シ低キ所ニ硫黃ノ噴出スル所アリ、盛ニ之レヲ採掘シ、槌ニヨリテ之レヲ麓ノ海岸ニ運ブ、島ノ上部ニハ數個ノ湖水、沼澤アリ、又水量ニ富メル多クノ溪流アリ、森林ノ鬱蒼トシテ繁茂セル所アリ、或ハ開濶ニシテ唯草本灌木ノミヲ生ズル原野アリ、海岸ニハ多少砂濱ヲ爲セル所アリ、或ハ古キ熔岩ノ大ナル斷片ノ疊重セル所アリ、又珊瑚蟲類ノ繁殖ノ結果、所謂裾礁ヲ形成セル所アリ、又海岸ニ近キ所ニ屢々溫泉噴出シ、住民ノ浴場トナルアリ。

寶島モ火山島ニシテ中央ニ圓錐形ノ山アレトモ、既ニ全ク冷却シ、其頂上ノ海拔ハ僅ニ二百六十三米突ニ過ギズ、尙島ノ西北隅ニモ圓錐形ノ丘陵突出シ、其下ニ小キ銅坑アリ、本島ノ地質ハ中之島トハ大ニ異ナリ、周圍ノ部分ハ概ネ石灰岩ヨリナル、即火山島ノ周圍ニ珊瑚蟲盛ニ繁殖シ、裾礁ヲ成生シ、後全地盤隆起シテ厚キ石灰岩層ヲ水上ニ表ハシタルモノナリ、海岸ハ概シテ平坦ナル砂濱ニシテ、往々巨大ナル珊瑚礁ノ聳立セル所アリ、又海岸ヨリ少シ離レシ所ハ急ニ高キ臺地ヲ爲セリ、是レ即裾礁ノ上昇セシモノニシテ、其上面ハ一帶ニ平坦ニ開濶セル草原ヲナセリ、水流ト稱スベキモノハ唯一筋小キ溝ノ如キモノアルノミ、然レトモ此流レノ水勢ハ比較的盛ナリ、其他ニハ唯所々ニ水ノ湧出スル所アルノミ、本島唯一ノ村落アル所(島ノ北部)ニ一ツノ鐘乳洞アリ、入口ハ匍匐シテ僅ニ入り得ル程ナレトモ、内ハ稍々深ク廣ク、鐘乳石モ石筍モ純白ニシテ頗ル壯麗ヲ極ム、村落ノ反對ノ側(即島ノ南部)ニモ一ツノ鐘乳洞アリ、口ハ廣ケレドモ甚淺ク、且ツ鐘乳石ハ暗灰色ニシテ美麗ナラズ、此島ノ土質ハ鐵分ニ富メル粘質壤土ナリ。

第三章 氣象

本群島ニ於ケル氣象觀測ハ中之島所在ノ十島村役場ニ於テ雨量ノ觀測ヲ行ヘルノミニシテ、其他ノ觀測ナシ、故ニ今假ニ此群島ニ最近キ觀測所タル中央氣象臺附屬名瀬測候所(大島郡名瀬村伊津部東經百二十度三十分、北緯二十九度二十三分)ニ於ケル觀測ヲ參考ノ爲茲ニ掲ゲン。

(明治三十七年ヨリ大正二年ニ至ル十ヶ年平均)

月次	溫			濕度	m.m.	天 氣			
	均平	最高	最低			雨	曇	曇天	雨
一月	14.6	26.4	4.6	72.4	222.0	0.8	10.4	19.8	22.2
二月	14.2	25.4	5.2	73.0	224.5	0.2	6.4	21.4	21.8
三月	16.3	28.0	5.2	72.0	209.2	0.3	9.0	21.7	21.9
四月	19.4	30.3	8.9	75.4	230.5	0.7	10.5	18.8	18.8
五月	21.7	32.7	11.6	76.8	312.6	1.1	10.5	19.4	19.9
六月	25.6	34.2	15.8	79.0	387.5	0.3	9.8	19.9	19.1
七月	27.5	34.4	18.8	78.7	233.6	1.3	16.6	13.1	18.8
八月	27.3	35.0	20.2	79.2	314.9	1.4	17.1	12.5	20.5
九月	26.1	33.7	15.3	78.7	212.8	2.3	17.1	10.6	18.9
十月	22.8	32.1	12.5	73.8	231.9	1.5	15.9	13.6	17.6
十一月	19.1	29.3	9.1	70.8	230.8	0.5	11.4	18.1	16.3
十二月	16.0	27.1	7.1	70.6	184.2	0.8	11.5	18.7	19.8
全年	20.9	35.0	4.6	75.0	2,994.6	11.2	146.2	207.6	235.6

吐噶喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

右ノ表ニヨリ名瀨ニ於テハ一年中最温度高キハ七八月ニシテ、最低キハ一二月ナルコト、雨天ハ冬季ニ多ク、晴天ハ夏季ニ多キコト、四時ヲ通ジテ降雨ハ多ケレドモ、其内夏季ニ雨量多ク、冬季ハ比較的少キコト、且ツ湿度ハ夏高ク冬低キコト等ヲ知ルベシ。

次ニ本群島ヲ挟ム所ノ二三ノ観測所及當校所在地ニ於ケル氣象觀測ノ比較ヲ示サン。

(明治四十五年ヨリ大正元年ニ互ル)

結霜日數	較差	最低	最高	平均較差	平均最低	平均最高	名瀨
0	27.0	6.7	33.7	6.6	17.9	24.5	西之表
0	31.8	0.3	32.1	—	15.3	—	佐多岬
0	29.9	2.4	32.3	5.5	15.6	21.2	十二町
7?	35.1	98.4	33.5	8.7	13.9	22.6	鹿兒島
24	35.0	98.4	33.4	7.4	13.1	20.5	



右ノ表ニ示セル西之表ハ種子島ニアリテ、即本群島ノ北ニアル最近キ觀測所ナリ、又南ニ當リテ、最近キハ名瀨測候所ナレバ、此兩所ニテ測定セル氣象ニヨリ、略此群島ノ氣象ヲ察知シ得ベキカ、次ニ佐多岬ハ大隅ノ南端ニシテ、十二町ハ薩摩ノ指宿ニアリ、以テ大略九州最南ノ氣象ヲ示スニ足ルベシ、即上記ノ表ニヨリ本群島ハ九州最南ノ地ニ比シテ平均溫度高ク、絶對最高溫度ハ大差ナキモ、絶對最低溫度ハ著シク高ク、周年結霜ヲ見ザルコトヲ知ルベシ。

次ニ中之島及之レヲ挟ム觀測所ニ於ケル雨量ノ比較ヲ示サン。

(大正二年觀測)

名瀨	中之島	佐多岬	鹿兒島	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	總計	降水日數	最日量	其月日
256.6	217.4	50.0	131.1																
172.3	186.2	66.6	145.8																
298.7	277.2	118.4	193.5																
208.6	239.6	138.4	248.9																
273.0	165.7	222.3	155.5																
644.5	334.1	408.7	609.1																
176.8	353.1	227.9	497.3																
273.0	102.7	106.9	108.0																
349.8	892.6	391.3	365.5																
160.7	289.4	107.4	215.4																
135.9	98.1	50.4	75.0																
173.9	155.2	133.6	97.0																
3,123.8	3,311.3	2,021.9	2,842.1																
23.5	17.2	13.7	16.4																
196.1	200.5	157.8	166.7																
二十九、一	二十九、一	六、十五	二十六、十五																

此表ニヨリ中之島ハ之レニ近接セル他ノ地方ニ比シ雨量ノ大ナルコトヲ知ル。

次ニ風ニ關スル名瀨測候所ノ觀測ヲ示サン。

吐噶喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

(大正二年觀測)

平均風速	最大風速	最多方向	一月 二月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 十二月 全年
6.5	22.9	北	一月
6.1	20.2	北	二月
5.5	15.0	北	三月
4.1	10.2	南	四月
4.3	14.2	南	五月
3.9	9.5	南々西	六月
3.1	10.6	南	七月
3.7	10.7	南	八月
4.0	15.2	南	九月
5.7	19.2	東々北	十月
5.6	16.8	北	十一月
6.6	21.5	北	十二月
4.9	22.9	北	全年
4.84	38.1	南	元大正
4.68	27.2	南	年正
4.5	22.4	南	四明
4.7	20.9	南	年治
			同同
			三同
			四年
			二年

右ノ表ニヨリ冬季ハ北風多ク、夏季ハ南風多ク、風力ハ冬強ク夏弱キヲ知ル、即現ニ薩摩、沖繩間ノ航路ニ當ル約七十里ニ亙ル七島沖ハ冬季ハ風波荒クシテ航海困難ナレドモ、夏季ハ比較的平穩ナリ。

次ニ海流ニ就キテ一言センニ、東ヨリ西ニ走ル所ノ北赤道流ハニニニニニ島ノ邊ヨリ北東ニ方向ヲ變ジテ黒潮トナリ、琉球諸島ヲ洗ヒ、表日本ヲ掠メテ尙東北ニ向フ、即吐噶喇群島ハ此黒潮ノ正ニ琉球諸島ヲ經テ西南ヨリ東北ニ向フ通路ニ平行シテ並列セルモノナリ、七島沖ノ古來船行ノ難所タリシハ即此海流ニ因ス。

上記ノ事實ヲ本群島植物分布ノ上ニ照ラシテ考フルニ、先ヅ溫度ニ關シテハ、最低五度或ハ六度ヲ下ラズ四時霜雪ヲ見ズ、即暖帶 Die warmtempernte (Tüfel)ノ氣候ニ屬ス、又四時潤澤ナル雨量ノ恩惠ヲ蒙リ、即恆雨地域 Das immerfeuchte Gebietヲ形成ス、此二點本群島ノ植生ノ状態ニ重

大ナル關係アリテ、中之島ハ所々ニ鬱蒼タル密林ヲ有シ、所謂暖帶恆雨林 *Der warmtemperirte Regenwald* ノ相ヲ呈シ、又寶島ハ地勢上、水流沼澤ニ乏シキニモ係ラズ、土地能ク潤ヒ、至ル所樹木草本共ニ能ク繁茂シ、殊ニ往々水田サヘ設ケタル所アリ。

後章述ブル所ノ如ク、鹿兒島市附近及南薩、南隅ノ地ニ産セズシテ、初メテ此群島ニ表ハルル植物ノ種類少カラズ、是レ一ツハ溫度ノ關係ノ然ラシムルモノ、又ハ風及海流ニヨリテ大島、沖繩方面ヨリ種子或ハ果實ヲ送ラレシト認メラル、モノアリ、而シテ中之島ニハ南九州ノ分子多ク混ジ、寶島ニハ大島、沖繩ノ分子比較的多ク含マル、是レ中之島ニハ南九州産ノ植物ノ種子或ハ果實ノ風又ハ鳥ニヨリテ到達スル機多ク、寶島ニハ其南方ノ大島其他ノ島々ヨリ、運バル、機多ケレバナリ。

#### 第四章 中之島ノ自生植物

##### 第一節 中之島自生植物目錄

###### *Hymenophyllaceae.*

- |   |        |
|---|--------|
| (1) <i>Hymenophyllum Wrightii</i> , Boscii            | こけしのぶ  |
| <sup>H</sup> (2) <i>Trichomanes auriculatum</i> , Br. | つるほらごけ |
| (3) <i>Trichomanes parvulum</i> , Poir.               | うちはごけ  |
| <sup>H</sup> (4) <i>Trichomanes rigidum</i> , Sw.     | おにほらごけ |

###### *Cyathaceae.*

吐噶喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

(5) *Cyathea spinulosa* WALL.

へこ

Polypodiaceae.

(6) *Asplenium Nidus*, L.

おほたにわたり

(7) *Asplenium resectum*, Sw.

ほうびしだ

(8) *Asplenium Wrightii*, Hook.

くるましだ

(9) *Blechnum Spicant*, ROY. *var. subserata*, LOWE.

ししがしら

(10) *Cheilanthes bicarpiis*, Presl. *forma. integrifolium*, FAR.

すぢひとつば

(11) *Diplazium lanceum*, Presl.

へらしだ

<sup>II</sup>(12) *Diplazium Wrightianum*, FAR.

さんまうるので

(13) *Dryopteris lepigera*, KUNZE.

ゆのみねしだ

<sup>II</sup>(14) *Gymnopteris virens*, WALL.

えだうちほんぐうしだ

<sup>II</sup>(15) *Histiopteris incisa*, AGARDH.

ほしだ

(16) *Lindsaya orbiculata*, METT.

たましだ

(17) *Nephrodium sopheroides*, Desv.

ひとつば

(18) *Nephrolepis cordifolia*, Presl.

ほらしのぶ

(19) *Niphobolus Lingua*, SPR.

いはひとで

(20) *Odontosoria chinensis*, Kuhn. *var. tenuifolia*, Mak.

(21) *Polypodium ellipticum*, THUNB.

(22) *Polypodium ensatum*, THUNB.

くりはらん

(23) *Polypodium lineare*, THUNB.

のましのぶ

(24) *Polystichum falcatum*, DIEL. var. *gemma*, MAK.

おにやぶそてつ

(25) *Pteridium aquilinum*, KUHN.

わらび

(26) *Pteris binnaria*, L. var. *quadriaurita* LUTHERS.

はちぢちうしだ

(27) *Pteris marginata*, BOYD.

おにわらび(新稱)

(28) *Pteris semipinnata*, L. var. *dispar*, BAK.

あまくさしだ

(29) *Vittaria lineata*, SW.

ししらん

Gleicheniaceae.

(30) *Gleichenia glauca*, HOOK.

うらとろ

(31) *Gleichenia linearis*, BEDD.

こしだ

Selaginaceae.

(32) *Eygodium japonicum*, SW.

つるしのぶ

Osmundaceae.

(33) *Osmunda regalis*, L. var. *japonica*, MURD.

ぜんまい

Marattiaceae.

(34) *Angiopteris execta*, HOPPE.

りうびんたふ

Lycopodiaceae.

吐喝喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

(35) *Lycopodium cernuum*, L.

みづすぎ

(36) *Lycopodium serratum*, THUNB. *var.* *javanicum*, MAK.

たうげしば

(37) *Lycopodium subulifolium*, MAK.

なんかくらん

Psilotaceae.

(38) *Psilotum triquetrum*, Sw.

まつばらん

Selaginellaceae.

<sup>ii</sup>(39) *Selaginella canaliculata*, BAKER.

とりのはかたひば

Taxaceae.

(40) *Podocarpus macrophylla*, DON.

うぬまね

Pinaceae.

(41) *Pinus Thunbergii*, PARK.

くろまつ

Alismaceae.

(42) *Alisma Plantago*, L. *var.* *angustifolium*, KUNTH.

へらおもだか

Hydrocharitaceae.

(43) *Blyxa cerasosperma*, MAX.

すぶた

Gramineae.

(44) *Agrostis tenuiflora*, STEUD.

ぬかほ

(45) *Andropogon brevifolius*, Sw.

うしくち

- |                    |   |           |
|--------------------|---|-----------|
| (46)               | <i>Athrasxon ciliaris</i> , BEAUV.                              | こぶなぐさ     |
| (47)               | <i>Arundinaria Hindii</i> , MUNRO.                              | かんざんちく    |
| (48)               | <i>Arundinella anomala</i> , STREUD.                            | とだしば      |
| (49)               | <i>Arundo Donax</i> , L.  | だんちく      |
| (50)               | <i>Eleusine indica</i> , GÄRTN.                                 | おひじは      |
| (51)               | <i>Eragrostis pilosa</i> , BEAUV.                               | にはほこり     |
| (52)               | <i>Eragrostis atrovirens</i> , TRIN.                            | いとすずめがや   |
| (53)               | <i>Eriochloa villosa</i> , KUNTH.                               | なるこびえ     |
| (54)               | <i>Imperata arundinacea</i> , (VIL.)                            | ちがや       |
| (55)               | <i>Isachne australis</i> , R. BR.                               | ちごぢち      |
| (56)               | <i>Ischaemum Sieboldii</i> , Miq.                               | かものほし     |
| (57)               | <i>Lophatherum gracile</i> , BRONN. var. <i>elatum</i> , MUNRO. | ちちくち      |
| <sup>II</sup> (58) | <i>Manisuris granulavis</i> , SW.                               | やへがや      |
| (59)               | <i>Mischanthus condensatus</i> , HACK.                          | はちじやうすすき  |
| (60)               | <i>Mischanthus sinensis</i> , ANDERS.                           | すすき       |
| (61)               | <i>Oplismenus Burmanni</i> , BEAUV.                             | ちぢみぢち     |
| (62)               | <i>Oplismenus compositus</i> , BEAUV.                           | えだうちちぢみぢち |
| (63)               | <i>Panicum indicum</i> , L.                                     | はへぬめり     |

- (64) *Panicum repens*, L. はひきび  
 (65) *Panicum sanguinale*, L. めひじは  
 (66) *Paspalum distichum*, L. さはずめのひえ  
 (67) *Paspalum Thunbergii*, KUNZII. すずめのひえ  
 (68) *Sporobolus elongatus* R. Br. ねずみのを  
 (69) *Zoysis pungens*, Willd. var. *japonica*, HACTH. しば  
 (70) *Zoysia pungens*, Willd. var. *tenuifolia*, MAK. てうせんしば

## Cyperaceae.

- (71) *Carex satsumensis*, Fr. et SAV. あぶらしば  
 (72) *Cyperus amurensis*, MAX. var. *japonica*, MAX. かやつりぐち  
 (73) *Cyperus compressus*, L. くぐがやつり  
 (74) *Cyperus malaccensis*, LAM. しちとう  
 (75) *Cyperus pilosus*, VAILL. うしがやつり  
 (76) *Cyperus rotundus* L. はますげ  
 (77) *Eleocharis acicularis*, R. Br. まつばゐ  
 (78) *Eleocharis japonica*, Miq. はりゐ  
 (79) *Eleocharis plantaginea*, R. Br. くろぐわゐ  
 (80) *Fimbristylis diphylla*, VAILL. var. *horibunda*, Miq. くぐてんつち



(81) *Kyllingia brevifolia*, ROTTB.

ひめくぐ

(82) *Mariscus Sieberianus*, NEES.

くぐ

(83) *Rynchospora glauca*, VAILL.

とらのはなひげ

(84) *Rynchospora Wallichiana*, KUNZT.

いがくさ

(85) *Scirpus erectus*, Poir.

ほたるゐ

(86) *Scirpus mucronatus*, L.

かんがれい

(87) *Scirpus* sp.

<sup>H</sup>(88) *Scleria serotriculata*, NEES et MEY.

おほしんじゆがや

Palmae.

(89) *Didymosperma Engleri*, WARB.

くるつぐ

(90) *Livistona chinensis*, R. Br.

びらう

Araceae.

(91) *Acorus Calamus*, L.

しやうぶ

(92) *Alocasia macrorrhiza*, SCHOTT.

まんしういも

(93) *Amorphophallus kiusianus*, MAK.

やまこんにやく

(94) *Arisaema ringens*, SCHOTT.

むさしめぶみ

Lemnaceae.

(95) *Spirodela polyrrhiza*, SCHUMER.

うきくさ

Eriocaulaceae.

(96) Eriocaulon sp.

Commelinaceae.

(97) Anclena nudiflorum, R. Br.

(98) Commelina benghalensis, L.

(99) Commelina communis, L.

(100) Pollia japonica, HARRS.

Pontederiaceae.

(101) Monochoria vaginalis, Persl.

Philydreae.

<sup>ii</sup>(102) Philydrium lanuginosum, BANKS.

Juncaceae.

(103) Juncus sp.

Liliaceae.

(104) Dianella nemorosa, LAM.

(105) Disporum sessile, DON.

(106) Hemerocallis fulva, L. var. longituba, MAX.

(107) Liriope graminifolia, BAK.

たいわんいぼくち

さるばつくち

つづくち

やぶめらが

こなち

たぬきわやめ

あさやうらん

はうちやくさう

のくわんぢう

やぶらん

(108) *Metanarthecium luteo-viride*, MAX.

のぎらん

(109) *Ophiopogon japonicus*, Lodd.

のしらん

♀ (110) *Ophiopogon japonicus*, (LAWL.)

じやのひげ

(111) *Stalax* (China, L.)

さるとりいばら

Ananyllidaceae.

(112) *Crinum asiaticum*, L. var. *japonicum*, BAR.

はまおもと

†(113) *Conchilio orchoides*, (KUNZ.)

さんばいぢさ

Dioscoreaceae.

(114) *Dioscorea japonica*, TH.

やまのしも

(115) *Dioscorea quinqueloba*, TH.

きくばどころ

(116) *Dioscorea sativa*, L. form. *spontanea*, MAX.

まるばどころ

(117) *Dioscorea* sp.

Zingiberaceae.

(118) *Alpinia chinensis*, ROSC.

あをのくまたけらん

(119) *Alpinia japonica*, MIRA.

はなめらが

(120) *Zingiber Mioga*, ROSC.

めらが

Orchidaceae.

(121) *Aerides japonicum*, LINDL. et REICHB.

なごらん

<sup>11</sup>(122) *Galanthus veratrifolius*, B. Br.

つるらん

(123) *Epipactis Thunbergii*, A. Gr.?

かきらん(こ)

<sup>11</sup>(124) *Goodyera procera*, Hook.

きんぎんざう

(125) *Goodyera Schlerchenthaliana*, Kuhn.

みやまうづら

<sup>11</sup>(126) *Habenaria geniculata*, Don.

だいらぎらう

(127) *Liparis nervosa*, Lindl.

こくらん

(128) *Platanthera interrupta*, Max.

おほばのとんぼらう

<sup>11</sup>(129) *Platanthera tentaculata*, var. *acutifolia*, Hayata.

Piperaceae.

(130) *Piper Finto-kadsura*, Sieb.

ふうとうかづら

Chloranthaceae.

(131) *Chloranthus brachystachyus*, Bl.

せんりやう

Myricaceae.

(132) *Myrica rubra*, Steud. et Zucc.

やまもも

Fagaceae.

(133) *Pasania cuspidata*, Oakes.

しひのこ

(134) *Pasania obtusifolia*, Mak.

またばしひ

(135) *Quercus glauca*, Th.

めらかし

Ulmaceae.

H(136) *Trema orientalis*, Bl.

うらじろあのみ

Moraceae.

(137) *Broussonetia Kasinoki*, SIEB.

かうぞ

(138) *Ficus erecta*, TH.

いぬびは

H(139) *Ficus nervosa*, HEYNE.

ながばあかう

(140) *Ficus pumila*, L.

おほいたび

(141) *Ficus retusa*, L. var. *nitida*, MIQ.

がづまる

(142) *Ficus Wightiana*, WALL.

あかう

(143) *Morus indica*, L.

しまぐは

Urticaceae.

(144) *Boehmeria holosericea*, Bl.

おにやぶまを

(145) *Boehmeria nivea*, HOOK. et ARN.

からむし

(146) *Pilea petiolaria*, Bl.

みやまみづ

(147) *Pouzolzia hirta*, HASSK.

つるまを

(148) *Villebrunnea frutescens*, Bl.

いはがね

(149) *Villebrunnea pedunculata*, SHRAT.

はどのち

Protaceae.

- |       |   |                |
|-------|---|----------------|
| (150) | <i>Helicia cochinchinensis</i> , LOUR.      | さつまがし          |
|       | Ioranthaceae.                               |                |
| (151) | <i>Ioranthus Yadoriki</i> , STEB.           | おぼばやどりね        |
|       | Balanophoraceae.                            |                |
| (152) | <i>Balanophora japonica</i> , MAK.          | ちちとりもち         |
|       | Aristolochiaceae.                           |                |
| (153) | <i>Asarum Blumei</i> , DUCH.                | かんあふい          |
|       | Polygonaceae.                               |                |
| (154) | <i>Polygonum Blumei</i> , MERSN.            | いぬたで           |
| (155) | <i>Polygonum chinense</i> , L.              | つるそば           |
| (156) | <i>Polygonum hydropiper</i> , L.            | やなぎたで          |
| (157) | <i>Polygonum perforatum</i> , L.            | いしみかは          |
| (158) | <i>Polygonum hastato-sagittatum</i> , MAK.? | ながつばのうなぎつかみ(?) |
|       | Amarantaceae.                               |                |
| (159) | <i>Achyranthes bidentata</i> , BR.          | ゐのこづち          |
| (160) | <i>Alternanthera sessilis</i> , R. BR.      | つるのびすこら        |
| (161) | <i>Amarantus Blitum</i> , L.                | さぬびめ           |
|       | Aizoaceae.                                  |                |
| (162) | <i>Tetragonia expansa</i> , AIR.            | つるな            |

Portulacaceae.

(163) *Portulaca oleracea*, L.

すべりひの

Caryophyllaceae.

(164) *Dianthus japonicus*, TH.

はまなでしこ

(165) *Stellaria aquatica*, SCOP.

うしはこべ

Ranunculaceae.

(166) *Clematis paniculata*, TH.

せんになさう

<sup>m</sup>(167) *Clematis* sp.

ひろはのせんになさう

<sup>s</sup>(168) *Clematis uncinata*, CHAMP.

ひろはのせんになさう

Lardizabaraceae.

○(169) *Stamtonia hexaphylla*, DEONE.

むぐ

Menispermaceae.

○(170) *Stephania hermudifolia*, WARP.

はすのはかづら

Magnoliaceae.

○(171) *Illicium anisatum*, L.

しきみ

○(172) *Kadsura japonica*, DUN.

びなんかづら

○(173) *Michelia compressa*, MAX.

おがたまのき

Lauraceae.

(174) *Cassytha filiformis*, L.

しまねなしから

(175) *Cinnamomum pedunculatum*, NEES.

やぶにくけら

(176) *Cinnamomum sericeum*, STEB.

おるびにくけら

(177) *Lindera citriodora*, HENSL.

あなまじ

(178) *Litsea japonica*, JUSS.

はまびね

(179) *Machilus Thunbergii*, STEB. et ZUCC.

うぬぐす

(180) *Tetradenia foliosa*, NEES.

うぬがし

Papaveraceae.

(181) *Corydalis pallida*, PERS. var. *platycarpa*, MAX.

はまさけまん

Droceraceae.

○(182) *Drosera Loureiri*, HOOK. et ARN.

こまうせんごけ

Saxifragaceae.

㊦(183) *Hydrangea chinensis*, MAX.

しまこんどりあ

(184) *Hydrangea virans*, STEB.

がくうしあ

Pittosporaceae.

○(185) *Pittosporum Tobira*, AIR.

とびらのあ

Rosaceae.

○(186) *Duchesnea indica*, FOCK.

くびらふん



M(187)	<i>Prunus Jamasakura</i> , STEB (?)	やまねくら (2)
○(188)	<i>Raphiolepis umbellata</i> , MAK.	しやりんばり
○(189)	<i>Rubus Sieboldi</i> , BR.	はうろくいちご
○(190)	<i>Rubus triphyllus</i> , TH.	なはしろいちご
(191)	<i>Rubus</i> sp.	
Leguminosae.		
(192)	<i>Aeschynomene indica</i> , L.	くちねむ
○(193)	<i>Albizzia Julibrissin</i> , DURRAZ.	ねむのち
○(194)	<i>Canavalia lineata</i> , DC.	はまなたまめ
(195)	<i>Desmodium podocarpum</i> , DC. <i>var. japonicum</i> , DC.	ぬすびとちち
(196)	<i>Desmodium polycarpum</i> , DC.	くちちち
○(197)	<i>Lespedeza juncea</i> , PERS. <i>var. sericea</i> , MAX.	めどはち
○(198)	<i>Pueraria hirsuta</i> , MATSUM.	くず
HO(199)	<i>Vigna lutea</i> , A. GR.	はまあづき
Oxalidaceae.		
○(200)	<i>Oxalis corniculata</i> , L.	かたばみ
Rutaceae.		
(201)	<i>Evodia meliifolia</i> , BENTH.	はませんだん

吐喝喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

(202) *Fagaria ailanthoides*, ENGL.

からすざんせう

*Polygalaceae.*

○(203) *Polygala sibirica*, L.

ひめはぎ

*Euphorbiaceae.*

(204) *Daphniphyllum glaucescens*, BL.

ひめづりは

(205) *Daphniphyllum macropodum*, MFG.

ゆづりは

<sup>H</sup>(206) *Euphorbia serrulata*, REINW.

みやこじまにしきちら

<sup>H</sup>(207) *Glochidion hongkongense*, MUELL. ARG.

ほんこんかんのさ

(208) *Glochidion obovatum*, STEB. et ZUCC.

かんのさ

(209) *Mallotus japonicus*, MUELL. ARG.

あかめがしは

(210) *Phyllanthus Urinaria*, L.

こみかんさ

*Anacardiaceae.*

○(211) *Rhus succedanea*, L.

はざのさ

*Aquifoliaceae.*

(212) *Ilex crenata*, TH. var. *microphylla*, MAX.

こげのさざひち

○(213) *Ilex Ohleria*, SPRENG.

おらのさ

*Celastraceae.*

○(214) *Euonymus japonica*, TH.

かたさ

- (215) *Erynnus* sp.  
 ○(216) *Othrodendron japonicum*, MAK.  
     Staphylaceae.  
 ○(217) *Tarpinia pomifera*, DC.  
     Sabiaceae.  
 (218) *Meliosma pungens*, WAILL.  
     Vitaceae.  
 (219) *Ampelopsis heterophylla*, SIEB. et ZUCC.  
 (220) *Vitis flexuosa*, TH.  
 ○(221) *Vitis Thunbergii*, SIEB. et ZUCC.  
     Flacocarpaceae.  
 ○(222) *Elaeocarpus japonica*, SIEB. et ZUCC.  
     Malvaceae.  
 (223) *Abernosechus moschatus*, MEDIC.  
 (224) *Hibiscus mutabilis*, L.  
 Ⅱ(225) *Urena lobata*, L. var. *tomentosa*, MIQ.  
     Sterculiaceae.  
 Ⅲ(226) *Melochia corchorifolia*, L.  
     のぢあふひ

もくれんし

やまでき

やまびは

のぶだう

さんかくづる

えびづる

こばんもち

とろろあふひもどき

ふよう

おほぼんでんくわ

のぢあふひ

## Dilleniaceae.

M(227) *Actinidia callosa*, LINDL. *var. rufa*, MAK.

なしかづら

## Theaceae.

○(228) *Cleyera ochnacea*, DC.

ちかち

○(229) *Eurya emarginata*, MAK.

はちひちかき

○(230) *Eurya japonica*, TH.

ひちかき

○(231) *Taonabo japonica*, SZYSSZ.

もくこく

○(232) *Thea japonica*, NOIS. *var. spontanea*, MAK.

やちびち

## Violaceae.

(233) *Viola grypoceras*, A. Gray.

たちつぼすみれ

(234) *Viola Patinii*, DC. *var. chinensis*, GING.

すみれ

## Stachyuraceae.

○(235) *Stachyurus praecox*, SIEB. et ZUCC.

さくし

## Thymneraceae.

<sup>s</sup>(236) *Daphne kiusiana*, MIQ.

こせらのさ

## Elaeagnaceae.

(237) *Elaeagnus glabra*, TH.

つるぐみ

(238) *Elaeagnus macrophylla*, TH.

まるばぐみ

Oenotheraceae.

- (239) *Jussiaea suffruticosa*, L. きだちきんばい  
(240) *Ludwigia ovalis*, MRO. みづゆきのした  
(241) *Trapa nutans*, L. var. *bispinosa*, MAK. ひし

Haloragaceae.

- (242) *Haloragis micrantha*, R. BR. ありのたうぐち  
(243) *Myriophyllum spicatum*, L. はぢぢのふぢぢ

Araliaceae.

- (244) *Aralia chinensis*, L. var. *glabrescens*, MATSUM. たらのか  
(245) *Fatsia japonica*, DECNE. et PRACH. やつで  
(246) *Gilbertia trifida*, MAR. かくれみの  
(247) *Scheffera octophylla*, HARMS. ふかのち

Umbelliferae.

- (248) *Angelica kinsiana*, MAX. おにらど  
(249) *Centella asiatica*, URB. つぼくち  
(250) *Cryptotaenia canadensis*, DC. var. *japonica*, MAX. みつばざり  
(251) *Hydrocotyle rotundifolia*, ROXB. ちぢめぐち  
(252) *Oenanthe stolonifera*, DC. せり

(253) *Persea japonica*, TH.

ぼたんにんじん

Comaceae.

(254) *Aucuba japonica*, TH.

あをき

Ericaceae.

<sup>s</sup>(255) *Rhododendron Tashiroi*, MAX.

さくらつつじ

(256) *Rhododendron*, sp.

(257) *Vaccinium bracteatum*, TH.

しやしやんぼ

Myrsinaceae.

(258) *Ardisia crispata*, DC.

まんりやう

(259) *Ardisia hortorum*, MAX.

からたちばな

(260) *Ardisia Sieboldi*, MIQ.

もくたちばな

(261) *Ardisia villosa*, MEZ.

つるかうじ

(262) *Mussa japonica*, MORRIZI. var. *latifolia*, MIQ.

いづせんりよう

(263) *Myrsine capitellata*, MIQ.

たいみんたちばな

Primulaceae.

(264) *Lysimachia japonica*, TH.

こなすび

(265) *Lysimachia lineariloba*, HOOK. et ARN.

はなはつす

Symphlocaceae.

- |         |   |            |
|---------|---|------------|
| (266)   | <i>Symplocos lucida</i> , STEB. et ZUCC.                                | くろき        |
| (267)   | <i>Symplocos nerifolia</i> , STEB. et ZUCC.<br>Styracaceae.             | みみづばい      |
| (268)   | <i>Styrax japonicum</i> , STEB. et ZUCC.<br>Oleaceae.                   | えごのき       |
| II(269) | <i>Osmanthus bracteatus</i> , MATSUM.<br>Loganiaceae.                   | なたおれのき     |
| II(270) | <i>Buddlea curviflora</i> , HOOK. et ARN. var. <i>venerifera</i> , MAK. | うらじろふぢうごめ  |
| (271)   | <i>Mitrasacme polymorpha</i> , R. BR.<br>Gentianaceae.                  | あひなこ       |
| (272)   | <i>Swerfia Kuroiwai</i> , MAK.<br>Apocynaceae.                          | りうせうあけぼのちう |
| (273)   | <i>Anodendron laeve</i> , MAX.  | ちかきかづら     |
| (274)   | <i>Trachelospermum jasminoides</i> , LEMAIRE.<br>Asclepiadaceae.        | ていかかづら     |
| (275)   | <i>Henrya Augustiniana</i> , HENST. form. <i>linkiensis</i> , MAK.      | とせはかもめぐる   |
| (276)   | <i>Hoya carnosá</i> , R. BR.<br>Convolvulaceae.                         | ちくららん      |

(277) *Calystegia Soldanella*, R. BR.

はまひるがほ

(278) *Dichondra repens*, FORST.

あふひごけ

(279) *Ipomaea biloba*, HENRY.

うちはかづら

<sup>II</sup>(280) *Ipomaea hederacea* JACQ.

つたあさがほ

Borraginaceae.

(281) *Ehretia acuminata*, R. BR.

ちしやのみ

Verbenaceae.

(282) *Callicarpa japonica*, TH.

むらさきしきぶ

(283) *Clerodendron tricotomum*, TH.

くさね

(284) *Vitex trifolia*, L. f. *var. ovata*, MAK.

はまごら

Labiatae.

(285) *Clinopodium gracile*, O. KUNTZE.

たうばな

(286) *Mosla punctata*, MAX.

いぬかうじゆ

(287) *Scutellaria indica*, L.

たつなみちう

Solanaceae.

(288) *Physalis angulata*, L.

せんなりほほづき

<sup>H</sup>(289) *Solanum biflorum*, LOUR.

めじろほほづき

Scrophulariaceae.



(290)	<i>Ambulia sessiliflora</i> , BAILL.	あくろ
(291)	<i>Illysanthes veronicifolia</i> , URB.	すずめのたうがらし
<sup>H</sup> (292)	<i>Lindernia angustifolia</i> , WERTST.	わけたうがらし
(293)	<i>Torenia crustacea</i> , CHAM. et SCHLEGHT.	うりくち
	Gesneriaceae.	
<sup>H</sup> (294)	<i>Isanthera discolor</i> , MAX.	やまびはちう
	Acanthaceae.	
(295)	<i>Hygrophila lancea</i> Miq.	おろのつめ
	Plantaginaceae.	
(296)	<i>Plantago major</i> , L. var. <i>asiatica</i> , DONN.	おほばこ
	Rubiaceae.	
(297)	<i>Chomelia corymbosa</i> , K. SCH.	ぎよくしんくわ
(298)	<i>Dammacanthus indicus</i> , GÄRTN. var. <i>geminus</i> , MAK.	ありどほし
(299)	<i>Gardenia florida</i> , L.	くちなし
<sup>M</sup> (300)	<i>Morinda umbellata</i> , L.	つるあをき
<sup>H</sup> (301)	<i>Oldenlandia hispida</i> , BENTH.	けにほひぐち
<sup>H</sup> (302)	<i>Oldenlandia paniculata</i> , L.	そなれもぐら
(303)	<i>Ophiorrhiza japonica</i> , Bl.	さつまいなもり

(304) *Paederia tomentosa*, Bl.

へくそかづら

(305) *Psychotria serpens*, L.

いはづたひ

Caprifoliaceae.

(306) *Lonicera japonica*, Th.

すひかづら

(307) *Sambucus javanica*, Bl.

そくづ

(308) *Viburnum japonicum*, Spr.

はくさんぼく

Cucurbitaceae.

(309) *Gynostemma pedata*, Bl.

あまぢやづる

<sup>H</sup>(310) *Trichosanthes bracteata*, VOGEL.

おほからすうり

(311) *Trichosanthes cucumeroides*, MAX.

からすうり

Campanulaceae.

(312) *Adenophora verticillata*, TUSCH. *form. genuina*, MAK.

つりがねにんじん

(313) *Waltherbergia gracilis*, A. DC.

ひなぎきやう

Goodeniaceae.

<sup>H</sup>(314) *Scayola Koenigii*, Vahl.

くちまじふ

Compositae.

<sup>H</sup>(315) *Ainsliaea reflexa*, MERRILL.

しおぢいあ

(316) *Artemisia japonica*, Th.

あまこよあか

(317)	<i>Bidens pilosa</i> , L. <i>var. albiflora</i> , MAX.	しろばなのせんだんぐさ
(318)	<i>Bidens tripartita</i> , L.	たうこぎ
(319)	<i>Carpesium divaricatum</i> , SIEB. et ZUCC.	がんくびさう
(320)	<i>Carpesium</i> sp. (?)	とさんさう
(321)	<i>Centipeda orbicularis</i> , LOUR.	のぢぎく
(322)	<i>Chrysanthemum sinense</i> , SAB. <i>var. spontaneum</i> , MAK.	おにたびらこ
(323)	<i>Crepis japonica</i> , BENTH.	ほそばわだん
(324)	<i>Crepis lanceolata</i> , MAK.	ふくりやうさい
(325)	<i>Dichrocephala latifolia</i> , DC.	たかさぶらう
(326)	<i>Eclipta alba</i> . HASSK.	あきのげし
(327)	<i>Lactuca laciniata</i> , MAK.	いはにがな
(328)	<i>Lactuca stolonifera</i> , BENTH.	つはぶさ
(329)	<i>Ligularia Tussilaginea</i> , (BURM.) MAK.	うすべににがな
(330)	<i>Senecio sonchifolia</i> , MORICH.	めなもみ
(331)	<i>Siegesbeckia orientalis</i> , L.	おほはまぐるま
II(332)	<i>Wedelia biflora</i> , DC.	くまのぎく
II(333)	<i>Wedelia calendulacea</i> , LESS.	はまぐるま
(334)	<i>Wedelia prostrata</i> , HEMSL.	はまぐるま

右ノ目錄ニ依リ中之島ニ産スル羊齒類 Pteridophyta 以上ノ自生植物ノ數ヲ舉グレバ次ノ如シ。

科ノ數	一〇五
屬ノ數	二五九
種ノ數	三三四

以上ノ植物ハ明治四十三年八月一日ヨリ同月十六日ニ至ル間ニ於テ調査セシモノニシテ、何レモ余ガ親シク目撃セシモノニ限ル、而シテ本島中余等ノ足跡ノ尙至ラザリシ所モアリ、又唯一季節間ノ觀察ナルヲ以テ、勿論全島ノ植物ヲ網羅シ得タルモノニアラズ。

第二節 余等以前ノ中之島植物ノ調査

中之島ノ植物ニ關スル文獻ヲ案ズルニ、植物學雜誌第四卷、第四十四號及四十五號(即明治二十三年(一八九〇年)十月及十一月發行)ニ田代安定氏ガ「鹿兒島縣中之島ノ植物」ト題シ精細ナル總説及中之島植物分科譜ヲ載セラル、然ルニ此報文ハ終局ニ至ラズ唯二回ニテ擱筆セラレシハ誠ニ惜ムベキノ至ナリ、其植物分科譜ハ BENTHAM 及 HOOKER 二氏ノ分類法ニ從ヒ Ranunculaceae ヨリ初メ Haloragaceae マデニテ終ル、其間種ヲ舉グルコト五十二種、其他總説ノ文中ニ表ハレシモ八種、合計六十種ナリ、其内ニテ余ノ目錄中ニ出デタルモノハ〇章ヲ施シタル三十九種ニシテ、他ハ余等ガ見落シ、或ハ季節ノ相違ノ爲見ルヲ得ザリシモノナリ、即余ノ目錄ニ漏レタル十九種ヲ左ニ揚グ。

Cyathaceae.

Alsophitia.

Liliaceae.

*Lilium longiflorum*, TH.

てつぼうゆり

Ranunculaceae.

*Clematis* 'Fashiroi', MAX.

やへやませんにんぢら

Capparidaceae.

*Crataeva religiosa*, Forst.

きよぼく

Cruciferae.

*Cardamine hirsuta*, L.

たねつけばな

*Nasturtium indicum*, DC.

いぬがらし

Crassulaceae.

*Sedum japonicum*, STEB.

めのまんねんぐち

Hannamelidaceae.

*Distylium racemosum*, STEB. et Zucc.

すぢ

Rosaceae.

*Rubus sorbifolius*, MAX.

こじきさいちご

*Rubus* sp.

Leguminosae.

*Desmodium Gardneri*, BRH.

ときはやぶはぎ

*Desmodium laburnifolium*, DC.

うじくち

*Lespedeza striata*, HOOK. et ARN.

やはずちら

*Vicia tetrasperma*, MOENCH.

かすまぐち

Rutaceae.

*Fagaria schinifolia*, ENGL.

いぬぢんしろう

*Skimmia japonica*, TH.

みやましきみ

Callitricheaceae.

*Callitriche japonica*, ENGR.

あはごけ

Aquifoliaceae.

*Ilex* sp.

Violaceae.

*Viola verecunda*, A. GR.

つぼすみれ

(學名ニハ訂正ヲ加ヘタルモノアリ)

第三節 中之島自生植物ノ數

第一節ニ掲ゲタル、余ノ目錄ニヨル數ニ、第二節ニ示シタル、田代安定氏報文中ノ十九種ヲ加フ  
レバ次ノ數ヲ得

科ノ數 一一〇

屬ノ數 二六四

尙他日田代氏ノ調査筆記ノ全豹ヲ觀ルノ機ヲ得バ、更ニ上記ノ數ヨリ増スコト少カラザルベク、尙季節ヲ換ヘテ渡島精査セバ尙多少ノ種屬ヲ發見スルヲ得ベシ。

第四節 中之島植物中ノ未詳品及ビ疑問品

上記中之島自生植物中種名未詳或ハ疑問ノ品ニ就キ左ニ簡單ナル説明ヲ施サントス(各品ニ付シタル番號ハ目錄ノ番號ナリ)

(87) *Scirpus* sp.

山中ノ沼澤中ニ生ズ、其形態性狀等ハ *Scirpus lacustris*, L. var. *Tabernaemontani*, Trautv. (ふとむ)ニ酷似ス、然レドモ其莖ハ稍平タク、莖ノ切口ハ楕圓形ヲ呈スルコト、著シク異ナル點ナリ、此植物ハ莫産ノ原料トシテ本島重要ノ經濟植物ナリ、此事後章ニ詳説スベシ。

(96) *Eriocaulon* sp.

山中ノ池邊ニ生ズ、幼若ニシテ種名ヲ查定スルヲ得ザリキ。

(103) *Juncus* sp.

前種ト同所ニ生ズ、同シク幼若ニシテ種名ヲ定ムルヲ得ザリシガ *J. prismatocarpus*, R. Br. 卽からがしぜきしよらノ類ナルヲ認ム。

(117) *Dioscorea* sp.

山林中ニ生ズ、葉ハ互生、甚狹長ニシテ長サ七〇乃至七五 cm. 巾ハ葉脚卽最廣キ所ニテ一・五乃至一・七 cm. ニシテ漸次先端ニ向ヒテ狹小シ終ニ銳尖ヲ爲ス、葉脚ハ心臟形

ニ穿入シ兩端ハ箭根形ニ突出ス、主ナル葉脈ハ五本ニシテ其中、中央ノ三本ハ顯著ナリ、花、果ヲ得ズ故ニ種名ヲ定ムルコト能ハザレドモ我國既知ノ本屬植物ニアラザルヲ知ル。

(123) *Epipactis Thunbergii*, A. Gr. (?)

花穂既ニ枯死シ、種名ヲ確定スルヲ得ザレドモ、葉、莖ノ狀ヨリ推シテ恐ラク此種ナラント認ム。

(158) *Polygonum* sp.

平地小流ノ邊ニ生ズ、幼若ニシテ確斷スルヲ得ザレドモ、恐ラク *P. hasto-sagittatum*, MAK. (ながばのうなぎつかみ)ナルベシト認ム。

(167) *Clematis* sp.

牧野富太郎氏ノ說ニ依レバ此品 *C. brevicandata*, DC.ニ似タレドモ、其レトハ別種ナリト花、果ヲ得ズ、爲ニ未ダ斷定シ難シ。

(187) *Prunus Jamasakura*, STEB. ? (やまざくら) 喬木トナル、島人此材ヲ以テ一種ノ櫓ヲ作ル、余ハ唯其葉枝ノミヲ得、之ヲ牧野富太郎氏ニ質ス、氏ノ說ニヨレバ花ヲ檢セザレバ斷ジ難キモ、或ハやまざくらナルベシ、やまざくらハ屋久島以南ニ於テ未ダ知ラレズト、此品果シテやまざくらナリトセバ、即中之島ヲ其ノ南限トスベキカ。

(191) *Rubus* sp.

海岸ニ近キ草原ニ生ズ、葉ハ羽狀複葉ニシテ大形ナリ、即葉柄ノ基脚ヨリ頂端ノ小葉



ノ先端マデ、平均二五・〇 cm. アリ、小葉ノ數ハ七枚乃至九枚ニシテ、小葉柄極メテ短カク殆無柄ノ如キ部分モアリ、形卵形、葉脚ハ丸ク、先端ハ漸尖ス、葉邊ニ重鋸齒アリ、長サ九・〇 cm. 乃至一〇・〇 cm. 巾四・〇 cm. ナリ、葉柄、複葉ノ中軸及莖ニハ短キ刺、粗ニ生ズ、莖及葉柄ニハ腺毛ヲ密生シ、觸ルレバ粘氣ヲ感ズ、花、果ヲ得ズ、ばらいちご或ハこじきいちご等トハ全ク異ナリ。

(215) *Khonynus* sp.

山間鬱林中ニ生ズ、灌木ニシテ樹長略まさき等ニ於ケルガ如シ、枝極ハ繊細ニシテ、枝ノ頂端ハ常ニ成長中絶シ、先端ニ接近セル二椶之ニ代リテ平等ニ伸長シ *Viscum album*, *L. var. lutescens*, MAK. (やどりぎ) 或ハ *Acer* (かへで屬) ニ於テ見ル如キ所謂擬叉狀分岐 *False dichotomy* ノ現象ヲ呈ス、若キ莖ハ四稜形ヲ爲ス、葉ハ小形ニシテ、長卵形乃至披針狀、葉脚ハ丸ク、葉端ハ漸尖ス、鋸齒及葉ノ先端餘リ銳カラズ、葉長四乃至五 cm. 巾ハ一・三乃至一・九 cm. ナリ、葉柄ハ短カク〇・二乃至〇・三 cm. ナリ、葉ハ革質ナレドモ稍薄ク、無毛ニシテ光澤アリ、田代氏ノ中之島植物分科譜中ニ

(28) *Evonymus* sp. 日本名 きはまゆみ、方言めいびトアルハ恐ラク此レナルベシ。

(356) *Rhododendron* sp.

本島中央噴火山ノ中腹以上ニシテ草本灌木ノ混生セル、開濶ナル傾斜地ニ點在ス、樹勢葉、花等諸ノ點ニ於テ *Rh. kiusianum*, MAK. [*Rh. indicum*, SWERT. *var. japonicum*, MAK.] (みやまさりしま) ニ酷似スレドモ、此植物ノ命名者牧野富太郎氏ガ植物學雜誌第二十二卷

第二五四號即明治四十一年(一九〇八年)發行ニ載セラレタル記載ニヨレバ雄藥ノ數五本トアレドモ、余ノ得タル植物ハ各花十本ノ雄藥ヲ有ス、且ツみやまさりしまハ其花期六月ナルニ余ガ得タル植物ハ八月二日余ノ登山セルトキ方ニ満開ナリキ、以上ノ點ニヨリ余ハ茲ニ種名未詳トシテ擧グ。

(320) *Carpesium* sp. (?)

海ニ近キ樹林中ニ生ズ、當時葉ノミ發育シ居リ、花ヲ得ズ、種名判明セズ。

#### 第五節 中之島自生植物中ノ大島及沖繩分子

以上述ベタル植物中九州本島方面ヨリ移遷シタル分子アリ、又大島乃至沖繩方面ヨリ來レリト認ムベキ分子アリ、其後者ニ屬スルモノ、中、余ガ知レル範圍ニ於テ、南隅、南薩ノ地以北ニ産セザルモノヲ左ニ擧グ、之ヲ後章ニ示ス所ノ寶島自生植物中ノ大島及沖繩分子ト比較セバ、甚興味アリ。

*Trichomanes rigidum*, Sw.

おにほらごけ

*Diplazium Wrightianum*, FAYON.

*Gymnopteris virens*, Wall.  
*Pteris marginata*, BOYE.

おにわらび(種子島ニモ産ス)

*Sellaginella canaliculata*, BAKER.

とりのはかたひば(屋久島ニモ産ス)

*Mamiurus granulatis*, Sw.

やへがや

*Oplismenus Burmanni*, BEAUV.

えだうちぢみぢぞ

*Paspalum distichum*, L.  
*Scleria serripiculata*, NEES. et MEY.  
*Didymosperma Engleri*, WARR.  
*Ancilema nudiflorum*, R. Br.  
*Alpinia chinensis*, ROSC.  
*Goodyera procera*, HOOK.  
*Habenaria tentaculata*, BERGH. *var. acutifolia*, HAYAT.  
*Trema orientalis*, Br.  
*Ficus nervosa*, HEYNE.  
*Ficus retusa*, L. *var. nitida*, MRO.  
*Morus indica*, L.  
*Alternanthera sessilis*, R. Br.  
*Clematis uncinata*, CHAMP.  
*Cassytha filiformis*, L.  
*Hydrangea chinensis*, MAX.  
*Vigna lutea*, A. GR.  
*Euphorbia serrulata*, REINW.

さはずめのひえ  
 おほしんじゆがや  
 くろつぐ  
 たいわんいぼくさ  
 あをのくまたけらん  
 ぎんぎんさう  
 うらじろえのき  
 ながばあかう  
 がづまる  
 しまぐは  
 つるのげいとう  
 ひろはのせんになさう  
 しまねなしかづら  
 しまこんてりぎ  
 はまわづき  
 みやくじまにしきさう(種子島ニテ産ス)

*Glochidion hongkongense*, MERRILL ARG.

ほんこんかんこのき(屋久島ニモアリ)

*Eucynmus* sp.

*Hibiscus mutabilis*, L.

ふやう(屋久島ニモアリ)

*Urena lobata*, L. var. *tomentosa*, MIQ.

おほぼんでんくわ

*Jussiaea suffruticosa*, L.

さだちさんばい

*Osmanthus bracteatus*, MATSUMI.

なたおれのき(屋久島ニモアリ)

*Buddlea curviflora*, HOOK. et ARN. var. *venerifera*, MAK.

さらじろふぢうつぎ(屋久島ニモアリ)

*Swertia Kuroiwai*, MAK.

りうきうわけぼのさう

*Ipomaea hederacea*, JACQ.

つたばあさがほ

*Isanthera discolor*, MAX.

やまびわさう(種子島ニモアリ)

*Morinda umbellata*, L.

つるあをき(種子島ニモアリ)

*Oldenlandia hispida*, BENTH.

けにほひぐさ

*Trichosanthes bracteata*, VOLCHER.

おほからすうり(屋久島ニモアリ)

*Scaevola Koenigii*, Vahl.

くさとべら

*Ainsliaea reflexa*, Merr.

しまはぐま

尙前記田代氏報文中ニモ次ノ三種アリ

*Alsophila*

*Lilium longiflorum*, Th.

てつぼうゆり

Olenatis Tashiroi, MAX.

やへやませんにんさう

右四十二種ノ外尙大島沖繩方面ノ分子ト認ムベキモノ少カラザレドモ余ガ南薩及南隅以北ニ自生アルヲ知レルモノハ茲ニ擧ゲズ。

### 第五章 中之島ノ植物組織成區

中之島ノ各部ニ於ケル植物組織成區 Vegetable formation ノ差別ハ主トシテ土地ノ關係 Edaphic condition ニヨリテ支配セラル、モノニシテ、氣象上ノ關係 Climatic factors ハ全島殆平等ニ受クルヲ以テ、植物組成ニ影響スルコト少ナシ、又高低ニヨリ植物組成ノ別ハ左ノミ甚シカラザレドモ、中央ノ圓錐峰ノ頂上及其附近ニハ多少其中腹以下ニ於テハ決シテ産セザル植物ヲ有ス、故ニ中之島ノ植物組成區ヲ大略次ノ如ク分ツ。

- 一、森林區
- 二、草原區
- 三、耕地區
- 四、沼澤區
- 五、砂濱區
- 六、山岳區

#### 第一節 森林區

中之島ハ七島中ノ最高峯ヲ有スルヲ以テ、水蒸氣ヲ含メル氣流ヲ遮リ、他ノ島嶼ニ比シテ多量

吐喇噶群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

ノ降雨ヲ被ルヲ得ベク、水量豊富ナル溪流沼澤所々ニアリテ、其水域ニハ鬱蒼タル森林ノ繁茂セル所少カラズ、其森林ノ内、山間、谿谷ニ近ク發達セシモノト、海岸ニ近ク發達セシモノトハ、多少植物組成ニ異ナル所アリ、故ニ之ヲ谿谷林區、海岸林區ニ小別スルヲ便トス。

(甲) 谿谷林區

山ノ中腹邊ヨリ以下海岸附近ニ至ル迄、谿谷ニ接近セル部分ハ樹木能ク繁茂シ、其下ニハ又多種ノ草木密生セリ、尙樹幹、樹枝ニハ諸種ノ攀緣性植物及樹上植物等着生セリ、此區ノ樹木ノ主ナルモノヲ擧グレバ

へご、いぬまき、くろつぐ、やまもも、うらじろえのき、しひのき、まてばしひ、あらかし、いぬびは、はどのき、やまもがし、おがたまのき、しきみ、やぶにくけい、あをもと、いぬがし、いぬぐす、がくうつぎ、しまこんてりぎ、やまざくら(?)、とべらのき、しやりんばい、ゆづりは、ひめゆづりは、はませんだん、もちのき、*Eumyrs sp.* (215)、やまでき、やまびは、こばんもち、ひさかき、さかき、もくこく、つばき、きふぢ、こせうのき、つるぐみ、たらのき、やつで、かくれみの、ふかのき、あをき、さくらつつじ、しやしやんぼ、まんりやう、もくたちばな、くろき、みみづばい、えこのき、なたれのき、うらじろふぢうつぎ、ちしやのき、むらさきしきふ、くさぎ、ぎよくしんくわ、ありどうし、くちなし、はくさんぼく、等ナリ。

蔓性植物ニハ

つるしのふさるとりいばら、きくばどころ、やまのらも、*Dioscorea sp.* (117)、*Clematis sp.* (167)、むべ、びなんかづら、はうろくいちご、くづさかきかづら、したきさう、つるあをき、へくそかづら、す

ひかづら等アリ。  
攀縁性植物ニハ

ふうとうかづら、おほいたび、ていかかづら、さくららん、いはづたひ等アリ。

樹上植物ニハ

つるほらごけ、おほたにわたり、ひとつば、のきしのぶ、*Diplazium Wrightianum*, HARON. ししらんなかくらん、まつばらん、なごらん等アリ。

地上ノ草本ノ主ナルモノヲ擧グレバ

ほしだ、いはひとで、くりはらん、ほんぐうしだ、*Gymnopteris virens*, WALT., *Pteris marginata*, BORY. うらじろ、こしだ、りうびんたい、たうげしば、とりのはかたひば、ささくさ、ちぢみざさ、えだうちぢみざさ、ひめくぐ、おほしんじゆがや、まんしういも、むさしあぶみ、やぶめうが、はうちやくさう、やぶらん、のしらん、じやのひげ、めうが、つるらん、みやまうづら、樹上又ハ岩上ニモ生ズ、こくらん、だいさぎさう、きんぎんさう、おほばのとんぼさう、せんりやう、みやまみづ、かんあふひ、みつばぜり、つるかうじ、りうきうわけぼのさう、たうばな、めじろほほづき、やまびはさう、つたあさがほ、さつまいなもり、しまはぐま等ナリ。

尙蔭濕ナル場所ノ岩石等ニハこけしのぶ、うちはごけ、おにほらごけ、すじひとつば等ノ着生セルアリ又諸種ノ常緑濶葉樹ニおほばやどりぎ寄生セリ。

尙此區内ニかんざんちくノ頗ル廣大ナル藪林ヲ形成シ、人一度迷ヒ入ルトキハ、容易ニ出ヅルヲ得ザル程ニ蔓延セル所アリ、此植物ニ關シテハ尙後章ニ説ク所アルベシ。

## (乙) 海岸林區

此區ハ前區ト劃然タル區堺ナク、且ツ兩區共通ノ分子、勿論多シト雖モ、自ラ多少其植物ノ種類ニ異ナル所アリ、即海岸附近ニ特有ニシテ山中ニハ全ク之レ無キモノアリ、即此區ノ代表的大木ハあかう及びがづまるニシテ之レニ尙種々ノ常綠濶葉樹混生シ一種ノ林相ヲ呈シ、海ニ面セル方面ハはまびは、まるばにくけい、はまひさかき等ヲ以テ圍マル、左ニ主ナル樹木ヲ舉ゲン。くろまつ、だんちく、くろつぐ、びらう、がづまる、あかう、いぬびは、ながばあかう、やぶにくけい、まるばにくけい、はまびは、とべらのき、しやりんばい、ねむのき、まさき、もくれいし、はまひさかき、つばき、まるばぐみ、もくたちばな、等。

### 蔓性植物ニハ

さるとりいばら、つるそば、せんにんさう、ひろはのせんにんさう、ほうろくいちご、はまなたまの、あまちやづる等主ナルモノナリ

### 樹枝、樹幹ニ着セル植物ニハ

おほたにわたり、ひとつば、おほいたび、ふうとうかづら、さくららん等アリ、

### 下草ニテ著シキモノハ

おにやぶそてつ、いはひとで、るので、きんもうるので、たましだ、りうびんたい、ちゝみざさ、あをのくまたけらん、まんしらいも、やまびはさう等ナリ。

## 第二節 草原區

此島ノ火山ノ裾野ニ相當スル部分、或ハ中腹以下ノ山脊ニ當ル部分ヨリ下リテ海岸ニ至ル迄、



廣々ト開展シテ大ナル草原ヲナセル部分アリ、此區ハちがや、すすきヲ主ナル植物トシ、其間ニ種々の灌木、草本ヲ混生ス。

主ナル草本ヲ擧グレバ

ほしだほらしのぶ、わらび、みづすぎ、ぬかぼ、うしくさ、こぶなぐさ、おひじは、とだしば、いとすすめがや、なるこびえ、ちがや、かものはし、やえがや、はちじようすすき、すすきはへぬめり、はひきび、めひじは、すすめのひえ、ねずみのを、しば、はますげ、くぐてんつき、くぐ、いがくさ、ほたるゐ、まゐるばつゆくさ、つゆくさ、ききようらん、のくわんざう、じやのひげ、きんばいざさ、まるばどころ、だいさぎさう、おほばのとんぼさう、おにやぶまを、からむし、つるまを、いぬたで、つるそば、いしみかは、ゐのこづち、こまうせんでけ、へびいちご、くさねむ、くさはぎ、めどはぎ、ひめはぎ、みやこじまにしきさう、こみかんさう、とろろあふひもどき、のぢあふひ、すみれ、たちつぼすみれ、きだちきんばい、ありのたうぐさ、つぼくさ、ちどめぐさ、こなすび、あひなへ、ぬかうじゆ、たつなみさう、つりがねにんじん、ひなぎきやう、おとこよもぎ、しろばなのせんだんぐさ、がんくびさう、のぢぎく、ぶくりようさい、あきのげし、うすべににがな、めなもみ等アリ、

尙其間ニ生ズル蔓性植物ハ次ノ如シ

つるしのぶ、せんにんさう、はすのはかづら、のぶだう、ゑびづる、くづ、ときはかもめづる、すひかづら、へくそかづら、からすうり、おほからすうり、

草間ニ生ズル灌木ヲ擧グレバ

かんこのき、ほんこんかんこのき(元來喬木ナレドモ唯灌木狀トナルヲ見タリ)、ふえう、おほ

ぼんでんくわ、えこのき、うらじろふぢうつぎ、むらさきしきぶ、くさぎ等ナリ。

### 第三節 耕地 區

此區ハ人工ニヨリテ原野或ハ森林ノ間ヲ拓キ、耕作地、住宅地及道路等トナセル部分ニシテ、自然ノ原野、森林トハ自ラ異ナル自生植物アリ、即次ノ如シ

うしくさ、にはほこり、めひとは、おひとは、すずめのひえ、ねずみのを、かやつりぐさ、くぐがやつり、うしがやつり、はますげ、ひめくぐ、たいわんいぼくさ、まるばつゆくさ、つゆくさ、つるまを、いぬたで、やなぎたで、つるそば、ぬのこづち、いぬびゆ、つるのげいとら、すべりひゆ、うしはこべ、せんにんさう、はすのはかづら、へびいちご、かたばみ、こみかんさう、たちつぼすみれ、つぼくさ、ちどめぐさ、せり、こなすび、あひなへ、あふひごけ、せんなりほほづき、すずめのたうがらし、あぜたうがらし、うりくさ、おぎのつめ、おほばこ、けにほひぐさ、へくそかづら、すひかづら、からすうり、ときんさう、おにたびらこ、たかさぶらう、いはにがな、うすべににがな等。

### 第四節 沼澤 區

前述ノ如ク本島ニハ沼澤多ク、又草原ヲ流ル、小河モ少カラズ、從テ好デ水中水邊ニ生ズル植物ノ種類比較的多シ、即次ノ如シ、

へらおもだか、すぶた、ちござさ、さはすずめのひえ、しちとう、うしがやつり、まつばゐ、はりゐ、くろぐわゐ、かんがれい、*Scirpus* sp. (87)、しやうぶ、うきくさ、*Eriocaulon* sp. (96)、こなぎ、たぬきあやめ、*Juncus* sp. (103)、やなぎたで、ながばのうなぎつかみ(?)、こまうせんごけ、きだちきんばい、みづゆきのした、ひし、ほぎきのふさも、きくも、すずめのたうがらし、あぜたうがらし、おぎのつめ、等。

### 第五節 砂 濱 區

本島ノ海岸ハ砂濱ト稱スベキ所少ナク、多クハ熔岩或ハ珊瑚礁ヨリナル岩塊、石礫ヲ以テ圍ラサル、此ノ砂濱上及岩石ノ間ニ生ズル植物ヲ總括シテ舉グレバ次ノ如シ

おにやぶそてつ、ちがや、さはすずめのひえ、しば、てうせんしば、はまおもと、おにやぶまを、つるそば、つるな、はまなでしこ、しまねなしかづら、はまきけまん、*Rubus* sp. (191) はまなたまめ、はまあづき、おにうど、ぼたん、にんじん、はまぼつす、はまひるがほ、うちはかづら、はまごう、そなれむぐら、くさとべら、おほはまぐるま、くまのぎく、はまぐるま、ほそばわだん等、ニシテ即其數少シ

### 第六節 山 岳 區

中腹以上ハ喬木ナク、主トシテちがや、はちじようすすき、かんざんちく等ノ禾本科植物ヲ生ジ、下方ニ無クシテ、此區ニ特有ノモノハ *Rhododendron* sp. (256) こばのいぬつげ及山ノ頂上ニ生ズルのぎらんとス。

### 第六章 中之島ノ栽培植物及其利用

左ニ中之島ノ栽培植物ノ目錄ヲ掲ゲン

#### *Cycadaceae.*

*Cycas revoluta*, Th. そてつ 人家ノ庭園ニ植エラル。

#### *Pinaceae.*

*Cryptomeria japonica*, Don. すぎ 所々森林中ニ栽植セラル。

*Juniperus chinensis*, L. びやくしん 人家ノ庭園ニ植エラル。

*Pinus lucubensis*, MAYR. ろしんすまつ 道路ノ傍ニ數本並木様ニ植エラレタルヲ見タリ。

(Gramineae.)

*Andropogon Sorghum*, BROR. *subsp. sativus*, HACK. *var. vulgaris*, HACK. もろこし 畑ニ栽培セラル。

*Bambusa nana*, ROXB. *var. normalis*, MAK. ほららいちく 少シク人家ノ傍ニ栽植セラレシヲ

見タルノミ。

*Eleusine coracana*, GÄRTN. しこくびえ 椎茸業ノ爲、大分縣下ヨリ移住セル者、數年前畑ニ

栽培セシガ、其後毎年自然ニ種子落テテ同家ノ畑ニ生ズ。

*Oryza sativa*, L. すね 此島ニハ稻作ヲ爲スモノ殆ナシ、唯稀ニ少シク陸稻ヲ作ルノミ。

*Phyllostachys reticulata*, MAK. まだけ 少シク栽植セル所アリ。

*Saccharum officinarum*, L. さとうきび 以前ハ栽培稍盛ナリシト雖モ、余ノ至リシ頃ハ衰微

シ唯一小部落ニ於テ栽培セルノミナリキ。

*Setaria italica*, Beauv. をほわは 本島民ノ最重要ナル穀物ナリ、數多ノ品種ヲ有シ、中ニハ

優良ノモノアリ、飯用ト餅用トノ二大別アリ、一年ニ二回播種收獲ヲ行フ。

*Zea Mays*, L. たうもろこし 品種甚多シ、殊ニ内地ニ於テ普通見慣レザル品種アリ、即洋

種ノ Amber Rice Popcorn ニ似タルモノナドアリ。

(Palmae.)

*Rhapis humilis*, Bt. しゆろちく 人家ノ庭園ニ栽植セラル。

*Trachycarpus excelsa*, WENDL. しゆる 人家ノ傍ニ植エラル。

Araceae.

*Colocasia antiquorum*, SCHOTT. さといも 品種二三種アリ、殆野生のニ生育セル所アリ、又一種極メテ巨大ナル品種アリ、秋ニ至レバ葉柄人ノ丈ヨリ遙ニ高く抽出ス、其塊莖ハ質軟ク粘性ニ富ミ、風味甚能ク、島民以テ憚リトナス。

*Colocasia gigantea*, HOOK. f. はすいも 人家ノ傍ニ栽培セリ。

Liliaceae.

*Allium Bakeri*, REEGL. らごまよう 畑ニ栽培セラル。

*Allium fistulosum*, L. ねぎ 同上。

*Allium odorum*, L. にら 同上。

*Allium Schoenoprasum*, L. わけぎ 同上。

*Lilium longiflorum*, TH. てつぼうゆり 畑地ニ栽培セリ鱗莖ヲ輸出ス、一時ハ奄美大島ノ人來リテ稍盛ニ栽培ヲ試シシモ、余ノ渡島當時ハ甚振ハザリキ。

*Lilium nobilissimum*, MAK. たもとゆり 本島ニハ自生ナシ、北ニ隣レル口之島ニ限リ自生スト云フ、本島人往々庭園ニ栽エ、或ハ鉢植トナセドモ、發育良好ナラズ。

Anaryllidaceae.

*Zephyranthes carinata*, HERR. さふらんもどき 人家ノ庭ニ栽エラル。

Musaceae.

吐喝喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

*Musa coccinea*, ANDR. ひめばせを 人家ノ庭ニ栽植セラル。

*Musa linkinensis*, (MATSUM.) MAK. りうさうばせを 殆野生ノ如キ状態ヲ爲シテ森林中ノ

湿地ニ叢生ス、本島人ハ其葉鞘ノ纖維ヲ採リテ、草履ノ爪先ニ編ミ込ムニ用キル、然レドモ、絲トシテ布ヲ織ル事ハ爲サズ。

*Musa sapientum*, L. みばせを 奄美大島ヨリ移シ、十島村長伊集院氏ノ宅庭ニ唯ニ株栽植セルアルノミ。

#### Zingiberaceae.

*Curcuma longa*, L. うこん 所々人家ノ傍ニ栽培ス、根ヲ黄色食用染料トシテ少量内地ニ移出スト云フ。

*Curcuma Zedoaria*, ROSC. がじゆつ (蓬莪茂) 前種ト同様ニ屢々人家ノ傍ニ栽培セリ、根ヲ薬用トス、殊ニ魚類ノ中毒ニ妙ナリト稱ス。

*Zingiber officinale*, ROSC. しょうが 用途内地ニ同ジ。

#### Cannaceae.

*Canna iridiflora*, KURTZ et PAV. たいりんだんどく 人家ノ傍及庭園ニ栽植セリ。

#### Fagaceae.

*Castanea sativa*, MILL. くり 畑地ノ傍ニ一本植エタルヲ見タリ。

#### Amarantaceae.

*Celosia cristata*, L. けいとうら 人家ノ庭ニ植エタル。

*Gomphrena globosa*, L. せんにならう 同上

Lauraceae.

*Cinnamomum Camphora*, NEES くすのき 奨勵シテ所々ニ栽植セシム。

Saxifragaceae.

*Saxifraga sumentosa*, L. f. ゆきのした 人家ノ石垣ノ間ニ生ズ、自生ニアラザルモノト認ム。

*Hydrangea opuloides*, STEUD. わびなる 人家ノ庭園ニ栽エラル。

Rosaceae.

*Eriobotrya japonica*, LINDL. びは 人家ノ傍ニ栽植セラル。

*Prunus Persica*, STEB et ZUCC. もも 畑地ニ栽植セラル。

Leguminosae.

*Ganavalia ensiformis*, DC. なたまめ 人家ノ傍ニ栽培セリ。

*Albizia* sp. (?) 道路ニ横タヘタル樹幹ヨリ萌芽セルヲ見タリ、葉ノ形状 *Albizia retusa*,

BENTH. ニ甚似タリ、何レカ此島ノ内ニ此木ノ植エアル所アリテ、此所ヨリ伐リ來リ、道路補繕ニ用キタルモノト見ユ。

Rutaceae.

*Citrus Aurantium*, L. var. — みかん 畑地ノ傍ニ栽植セラル、鹿兒島ニテやまみかんと稱

スルモノ、如シ。

Meliaceae.

吐喝喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

*Melia japonica*, DON. せんだん 村落所々に生育セリ。

Buxaceae.

*Buxus sempervirens*, L. つげ 人家ノ傍ニ栽植セラル。

Aceraceae.

*Acer palmatum*, TH. かへで 人家ノ庭園ニ栽植セラル。

Balsaminaceae.

*Impatiens Balsamina*, L. ほうせんくわ 観賞ノ爲庭ニ植エラル。

Malvaceae.

*Malva sylvestris*, L. var. *mauritanica*, MASTERS. ぜにあふひ 同上。

Punicaceae.

*Punica Granatum*, L. ざくろ 人家ノ庭園ニ栽植セラル。

Umbelliferae.

*Daucus Carota*, L. にんじん 畑地ニ栽培セラル。

Ericaceae.

*Rhododendron indicum*, SWEEF. var. *sublaeaeolatum*, MAK. たうつつじ 人家ノ庭園ニ栽植セラル。

Ebenaceae.

*Diospiros Kaki*, L. f. var. *domestica*, MAK. かき 畑地ノ傍等ニ栽植セラル。

Convolvulaceae.



*Ipomaea Batatas*, LAM. var. *edulis*, MAK. 芋(ごまいも) 本島民ハおはト共ニ之ヲ常食トス、耕地ノ大部分ニ此植物ヲ栽培セリ。

*Pharbitis hederacea*, CHOIS. おろがほ 観賞用。

*Quamoclit vulgaris*, CHOIS. むかうぢう 同上

Verbenaceae.

*Clerodendron squamatum*, VAHL. ひざり 人家ノ庭園ニ栽植セラル。

Labiatae.

*Perilla nankinensis*, DCNE. しそ 畑地ニ栽培セラル。

Solanaceae.

*Capsicum frutescens*, L. しまたうがらし 灌木ニシテ多年生ナリ、人家ノ傍ニ栽植セラル。

*Nicotiana Tabacum*, L. たばこ 人家ノ傍ニ少シ宛栽培セラル。

*Solanum Melongena*, L. なすび 畑ニ栽培ス。

Rubiaceae.

*Ixora chinensis*, LAM. ざんたんくわ 墓地ニ栽植セラル。

*Serissa foetida*, COM. はくてうげ 庭園、及人家ノ傍ニ植エラル。

Cucurbitaceae.

*Citrullus vulgaris*, SCHRAD. すゐくわ 我國在來ノ黒皮種ハ極メテ少ナク多クハ Ice-creamノ

雜種ナリ、中ニハ殆純然タル Ice-cream 種ノ如キ良品アリ、本島ノ老婆ニ聞クニ昔ヨリ此

吐喝喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

島ニテハ此改良種ヲ作り來レリト云フ。

*Cucumis Melo*, L. まくはうり 畑ニ栽培セラル。

*Cucumis Melo*, L. var. *Conomon*, MAK. しろうり 同上。

*Cucumis sativus*, L. きうり 本島人ニ取リテハ夏季ニ於ケル最貴重ナル蔬菜ナリトス、農夫、樵夫其他ノ労働者ハ辨當トシテ燂デタルさつまいもト共ニ此ノ果實ヲ生ノ儘ニテ携へ、副食物兼飲料水ノ代用トス。

*Cucurbita moschata*, DUCH. var. *melonaefornis*, MAK. きくぢたうなす(ぼうふら) 鹿兒島地方ニ

栽培スルモノト同一ノ品種ナリ、即皮ノ皺少キモノナリ、島人ハ之レヲ燂デテ副食物又ハ間食トス。

*Lagenaria vulgaris*, SER. ゆうがほ 普通干瓢ヲ製スルニ供スル丸實ノ品種ナリ、島人ハ之ヲ縦ニ半截シ、竹又ハ木ニテ柄ヲ作り、之ヲ以テ杓ヲ造ル。

*Luffa cylindrica*, ROEM. へちま 鹿兒島地方ト同様ニ蔬菜ニ供ス。

*Momordica Charantia*, L. くるれし 同上

Compositae.

*Arcium Lappa*, L. しばう 畑ニ栽培ス。

*Chrysanthemum sinense*, SAB. var. *hortensis*, MAK. きく 觀賞用。

*Gynura bicolor* DC. するぜんじな 人家ノ傍ニ生育セリ、元栽培セシモノト認ム。

第七章 中之島自生經濟植物及其利用

本島自生ノ植物中吾人經濟上意味アルモノヲ舉グレバ次ノ如シ。

(括弧中ノ番號ハ中之島自生植物目錄ニ記セルモノナリ)

(4) おにほらどけ

觀賞ノ爲培養スルニ足ル。

(5) へど

幹ヲ美術的器具用、蘭類羊齒類培養用、時トシテハ土木用材トシ、又ハ鉢ニ植エ室内裝飾ニ供ス。

(6) おほたにわたり

觀賞ノ爲培養スルニ足ルコト能ク人ノ知ル所ナリ。

(25) わらび

新芽ハ蔬菜トシ、繩ヲ作り、又之レヨリ澱粉ヲ採ル、本島人之ヲ利用スルヲ聞カズ。

(27) おにわらび(新稱)臺灣植物目錄ニハへりとりわらびノ和名ヲ載ス

種子島ニテハ此新芽ヲわらびノ如ク食用ニ供スト云フ。

(30) うらじろ

(31) こしだ

以上二種籠其他ノ細工物ヲ製シ、又土木用ニ供ス。

(33) ぜんま

新芽ヲ干シ、貯へ置キ蔬菜トス、本島人ハ之ヲ利用セズ。

(34) りうびんたい 觀賞ノ爲培養スベシ。

(37) なんかくらん

(38) まつばらん

(39) とりのはかたひば

以上三種何レモ觀賞ノ爲栽培スベキモノナリ。

(40) シロヤギ

鹿兒島地方ニ於ケル如ク、本島ニテモひとつばト稱ス、本島ヨリ産出スル最良ナル材木ノ一ナリ、奄美大島ヨリ樵夫ノ團隊移住シ來リ、半永久的ノ家屋ヲ作り、毎日此木ノ伐採ニ従事セリ、此材ヲ大島本島及沖繩島方面ニ輸送ス、此材ハ人ノ既ニ知ル如ク白蟻ノ害ヲ被ラザルヲ以テ貴重ナル建築材トシテ用キラル。

(41) くるまつ

用途ハ略ス、此島ニハ甚少シ。

(47) かんぞんちく

前章ニモ述ベシ如ク、山ノ中腹臺地等ニ廣ク密生シ、其産額莫大ナリ、本島人ハ之ニテ家屋ノ壁下ヲ編ミ、或ハ網代組トシテ壁ニ張り、或ハ家ノ床トナス等利用甚多シ、又島人ハ時々此植物ノ繁茂セル藪林ヲ燒キ拂ヒ、其跡ニさつまいもヲ栽培シ、再ビ此地ヲ放措スレバ又元ノ藪林トナル、此植物ニ就キテ特記スベキ事アリ、余ノ渡島ノ翌々年

即明治四十五年(一九一二年)全島ノかんざんちく開花結實シ、島民多量ノ收穫ヲ得シト云フ、(此植物ハ内地ニテモ明治四十二年頃ヨリ開花シ始メ、九州本島南部各地ニテハ同四十四年迄ニ悉ク開花枯死シタリ)、然ルニ此島ニハ元來一種ノ鼠(Mus *teanus*, *PAUL*. しちらうねずみ?)山野ニ棲息シ、農作收穫物及漁業生産物等ヲ喰ヒ荒シ、島民大ニ之ヲ困シミ、態々高倉ト稱スル一種ノ格納庫ヲ設ケ、之レニ穀類、鯉節等ヲ貯藏セル程ナルガかんざんちく結實ノ爲、鼠ノ食料一時ニ潤澤トナリシ爲、急激ニ繁殖シ、實見セシ人ノ話ニヨレバ竹藪、森林等ニ恰モ雀ノ群ヲ爲シテ棲レルガ如ク、數多ノ鼠群集セル様實ニ物凄カリシト云フ、斯クテ翌大正二年ニ至リテハかんざんちくノ實ヲ食ヒ盡シ、急ニ食料ニ缺乏ヲ來セシヨリ、更ニ村落ノ畑地ヲ襲ヒ、農作物ヲ害シ、尙人家ニ侵入シテ、家畜家禽ヲ咬ミ損ヒ、終ニハ夜間人ニモ咬ミ付ク等狂暴ノ狀筆紙ニ盡シ難カリシト云フ、古來ノ記録ヲ見ルニ竹類ノ結實ニ伴ヒテ野鼠ノ増殖セシ例少カラズ、此レモ其一例トシテ後世ノ參考ニ供セン爲茲ニ記シ置キヌ。

(54) ちがや

方言とまがやト稱ス、發育極メテ良好ニシテ葉ノ長サ三尺餘ニ達ス、本島ニテハ稻作ヲ爲サルヲ以テ藁繩ノ代リニ之ヲ刈リ暫時日ニ干シテ後繩ヲ作ル稻藁ノ繩ヨリ却テ強靱ナリト稱シ、椎茸、鯉節等ノ荷造ハ皆此繩ヲ以テス。

(55) はちじやらすすき

此植物ハ伊豆七島八丈島等ニテハまぐさト稱シ牛馬ノ飼料ニ供ス、すすきニ比シテ

葉ノ巾廣ク肉厚ク牧草トシテハ甚良好ナリ、本島ニテハ餘リ利用セザルガ如シ。

(70) てうせんしば(こうらさしば)

海岸ニ自生ス、庭園ノ芝生地 Lawn ヲ造ルニ適ス。

(74) しちとう

説明スルマデモナク、疊表及莫蔭ノ原料トナルモノナルガ、本島民ハ此植物ヲモ多少利用スト雖モ後ニ説ク所ノ *Scirpus* sp. ノ方ヲ賞用ス。

(79) くるぐわゐ

塊莖ヲくわゐニ於ケル如ク食用ニ供ス、本島ニテハ産量モ少ナク島民利用ノ道ヲ知ラズ。

(87) *Scirpus* sp.

本島ニテ最重要ナル纖維科植物ナリ、即しちとうノ如ク裂キテ莫蔭ヲ編ムニ供ス、しちとうニ比シテ遙ニ優良ナリト云フ、數年前奄美大島ヨリ此島ニ數家族移住シ來リ、此植物ノ多ク産スル山中ノ沼澤ノ傍ニ小村落ヲ作り、莫蔭ヲ作り大阪ニ移出セシガ種子島ニテ之レト同品ヲ尙廉價ニテ出スニ至リシ爲、競争ニ敗レ、余ガ渡島ノ時ハ其業ヲ止メ或ハ大島ニ歸リ、或ハ残りテ哀レムベキ生活ヲ爲セルヲ見タリ、本島民ハ自家用トシテ重用セリ。

(89) くるぐま

しゆゑノ如ク葉鞘ノ毛ヲ以テ繩等ヲ作り得ベキモノナルガ、本島ニテハ其産量モ極

メテ少ナク利用スルニ足ラズ。

(90) びらう

元ハ此島ニハ多少産セシモ現今ハ切り盡シテ甚少クナレリト云フ、本島民ハ此木ノ幹ヲ八寸乃至一尺程ノ長サニ切り、劔リ貫キ、竹串ヲ組ミテ底ト爲シ、以テ一種ノ甑ヲ作り米麥ヲ炊グニ用キル、各戸皆此びらう製ノ甑ヲ有ス。

(91) しょうぶ

香料、除蟲用、藥用等ニ供ス、本島人之ヲ利用セリヤ否ヤヲ知ラズ。

(112) はまおもと

觀賞ノ爲栽培スルニ適ス。

(114) やまのらも

説明スルマデモナク、根ヲ食用トスベシ。

(118) あをのくまたけらん

島民さにん(砂仁ノ意ナリ)ト稱ス、葉鞘ニテ繩、草履等ヲ作ル、本島民ハ米ヲ炊グトキ甑ノ内ニ敷クニ用キル。

(120) めらが

説明ヲ要セズ。

(121) なごらん

觀賞植物トシテ貴重ナルモノナリ、本島ニハ良品ヲ産ス。

(122) つるらん

観賞ノ爲栽培スル價值アリ。

(132) やまもも

本島ニテハ果實ハ餘リ食用トセズ、専ラ木皮ヲ利用スト云フ。

(133) しひのみき 説明略ス。

(136) うらじろのえのみき

島民之ヲふくぎト稱ス材質きりニ似テ下駄材トシテ甚佳ナリ、役場ニテハ其栽植ヲ獎勵セリ。

(137) からぞ 説明略ス、本島ニテハ利用セラレズ。

(141) がづまる

琉球塗ノ木地トシテ有名ナル用材ヲ供スル植物ナルガ本島ニテハ専ラ防風樹トシテ有效ナリ。

(143) しまぐは

人家ノ傍ニモ植エラレ大木トナレルモノアリ、養蠶ニ利用セラル、モノナリ。

(145) からむし

本島民之レヲ利用スルコトナシ。

(153) かんあふひ

観賞ノ爲栽培セラル、モノナリ。



(162) つるな

蔬菜トシテ食フベシ、本島民之ヲ利用セルヲ聞カズ。

(169) ぶい

果實ヲ食フベシ。

(171) しきみ

香料、薬用ニ供ス。

(172) びなんかづら

莖ノ粘液ヲ頭髮ヲ洗フニ用キル、本島ニテ利用セリヤ、否ヲ知ラズ。

(173) おがたまのき

此植物ハ本島ニテハ特筆スベキ重要ナル用材ナリ、本島ノ方言ヲどうすくと稱ス、巨大ナル材ニ富ムヲ以テ、島民之ヲ伐リテ所謂刳舟ト稱スル一種ノ獨木舟ヲ作ル、此舟ハ琉球ノ刳舟又ハ南洋ノ *Canoa* 等ニ比シテ尙一層原始的ノモノニシテ纜ヲ結ビ付クル横木ニ至ルマデ別ノ木ヲ用キズ、全部同一ノ木ヲ刳リテ作ル、島民專ラ此舟ニヨリテ漁業及他ノ島嶼トノ行通ヲ爲ス、尙他ノ島嶼ノ民モ刳舟ノ材トシテ態々此島ニ此木ヲ求メニ來ルト云フ。

(174) しまねなしかづら

此植物ハ人モ知ル如ク、寄生植物ニシテ寄主植物ニ取リテハ勿論有害ナルモ、此植物ハびなんかづら、いぬぐす、のりうつぎ等ノ如ク、粘性糊料ヲ含ム、未ダ本島民ノ之ヲ利

用セルヲ聞カズト雖モ何カ利用ノ道アルベキモノト認ム。

(175) やぶにくけい

種子ヨリ油ヲ採ルベシ、本島ニテハ利用セラレズ。

(179) しぬぐす

島民此木ノ皮ヲ採集シ、内地ニ移出スト云フ、即抹香、線香等ノ原料ト爲スモノナリト云フ。

(183) しまこんてりぎ

栽培シテ觀賞スルニ足ル。

(187) やまねくら(?)

本島ニテハ此材ヲ以テきんま(木馬ノ意カ)ト稱スル一種ノ櫓ヲ作り、山頂ヨリ硫黄ヲ運搬スルニ便ス。

(188) しやりんばら

内地ニテハ庭園ニ栽植シ、奄美大島ニテハ此木ノ皮ヲ紬ノ染料ニ供ス。

(197) めどはぎ

此島ニテハ佛前ノ獻花トシテ用キル。

(198) くづ

莖ノ纖維ヲ利用シ、根ヨリ澱粉ヲ採ルコト人ノ能ク知ル所ナリ、本島民之ヲ利用セルヤ否ヲ聞カズ。

(201) はませんだん

しまぐろト稱シ、材ヲ利用スルモノナルガ、本島ニハ甚少ナシ。

(211) はぜのみ

木蠟ノ原料ナルガ、本島ニテハ利用セズ。

(213) もちのみ

此島ニハ多ク産ス、村ノ北面七ツ島ト稱スル所ニ竊製造所アリ、海岸ニ溪流ヲ引キ、池ヲ作り、水車ヲ設ケ、盛ニ製造ニ従事セリ、樽ニ詰メテ内地ニ出スナリ。

(223) とろゝあふひもどき

種子ハ麝香ニ似タル香氣アリ、熱帶諸國ニテハ之ヲ栽培シ、種子ヲ香料 (Bisamkörner 又ハ Semen Abelmoschi ト稱ス) トシ、又之ヨリ香油 (Moschuskörneröl 又ハ Ambrettekörneröl ト稱ス) ヲ製シ、未熟ノ果實ハ蔬菜トナリ、皮ヨリハ苘麻ニ類スル纖維ヲ採ルヲ得、本島ニテハ少シモ利用スルコトナシ、此植物ノ曾テ鹿兒島ノ磯街道ニ於テ自生セルヲ見タリ、又屋久島ニテモ自生ヲ見タリ。

(224) ふやう

内地ニテハ常ニ觀賞ノ爲、庭ニ栽植セラル、モノナリ、屋久島ニモ自生アリ。

(225) おぼんでんくわ

纖維科植物ナレドモ、本島ニテハ利用セラレズ。

(231) もくこく

此植物モ本島ノ最重要ナル用材植物ノ一ナリ、方言ヲもほのきト稱ス、大木多シ、角材ニ伐リ奄美大島等ニ出ス、いぬまきニ次デ最貴重ナル材ナリトス。

(232) やまつばき

種子ヨリ油ヲ採ルコト、人ノ能ク知ル所ナリ。

(241) ひし

果實ヲ食フベシ。

(250) みつばせり

(252) せり

右二種蔬菜トナル、殊ニ後者ハ島民採リテ食フト云フ。

(255) さくらつゝ、ヒ

觀賞ノ爲庭木トスベク、又幹ハ皮ノ儘床柱ト爲スベシ、本島ニハ少ナク、且ツ大材ナシ。

(269) なたおれのき

此木モ本島ニテ重要ナル用材植物トス、材堅キニ過ギ、工作困難ニ、且ツ割裂シ易ク、實用ニ適セズ、然レドモ伐採調材ノ方法宜シキヲ得バ、大ニ利用スベキモノト認ム、本島ニテハ幹ノ株際ヨリ出ヅル徒長枝ヲ切り、皮ヲ剝ギ、之ヲ洋杖ニ作ル、細キモノト雖モ、甚堅固ニシテ永ク使用ニ堪フ。

(277) ちくららん

觀賞ノ爲栽培セラルベキモノニテ、既ニ内地ニテモ之ヲ栽培セルモノ多シ。

(299) くちなし

庭園ニ栽植スベク、果實ハ染料トナル、本島ニテハ利用セラレズ

(311) からすうり

根ヨリ澱粉ヲ採リ、又根ヲ薬用トスベシ、本島ニテハ利用セラル、ヲ聞カズ。

(215) *Phonyms* sp.

此植物果シテ田代氏報文中ノ所謂ぎはまゆみナリトセバ、同氏ノ説ニ依レバ次ノ用途アリ、即沖繩島及八重山島ニテハ此木ノ材ニテ「ギフハ」ト稱スル婦人用ノ簪ヲ作ル、因テ木其物モ亦ぎふはト稱セラル、材質つげニ似タリト云フ、中之島ニテモ亦之ヲ以テ簪ヲ作ルトノコトナレドモ、余ハ之ヲ聞知スルヲ得ザリキ。

## 第八章 寶島ノ自生植物

### 第一節 寶島自生植物目錄

(目錄中○章ヲ附ケタルモノハ中之島ニモ自生スル品ナリ)

#### *Polypodiaceae.*

○(1) *Diplazium lanceum*, PRESTL.

へらしだ

○(2) *Dryopteris lepigera*, KUNZTZE.

きんまうるので

○(3) *Nephrodium sophoroides*, DESV.

ほしだ

○(4) *Nephrolepis cordifolia*, PRESTL.

たましだ

吐噶喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

○(5) Polypodium ellipticum, TH.

いはひどて

(6) Polypodium Wrightii, MERR.

やりのほくりはらん

(7) Polystichum aristatum, PRESL.

かなわらび

○(8) Polystichum falcatum, DIERS, var. genuina, MAK.

おにやぶうてつ

(9) Polystichum japonicum, DIERS.

ゐので

<sup>H</sup>(10) Pteris biancauta, L. var. quadrinauta, LUERS.

はちじやうしだ

(11) Pteris serrulata, L. f.

ゐのもとぢう

Gleicheniaceae.

○(12) Gleichenia linearis, BEDD.

こしだ

Schizaceae.

○(13) Lygodium japonicum, SW.

つるしのぶ

Cycadaceae.

(14) Cycas revoluta, TH.

そてつ

Taxaceae.

○(15) Podocarpus macrophylla, DON.

スダササ

Pinaceae.

(16) Juniperus taxifolia, HOOK. et ARN.

しむろ

<sup>H</sup>(17) Pinus luchuensis, MAYR.

りらるさか

- |                   |   |        |
|-------------------|---|--------|
| ○(18)             | <i>Pinus Thunbergii</i> , PARR.<br>Pandanaeae.                                  | くろまつ   |
| (19)              | <i>Pandanus tectorius</i> , SOL.<br>Potamogetonaceae.                           | わだん    |
| (20)              | <i>Potamogeton polygonifolius</i> , POUR.<br>Najadaceae.                        | ひるむしろ  |
| (21)              | <i>Najas minor</i> , ALL.<br>Gramineae.   | とりげも   |
| ○(22)             | <i>Arundinaria Hindsi</i> , MUNRO.  | かんざんちく |
| ○(23)             | <i>Arundo Donax</i> , L.  | だんちく   |
| ○(24)             | <i>Eragrostis pilosa</i> , BEAUV.   | にはほこり  |
| (25)              | <i>Imperata arundinacea</i> , CYR.  | ちがや    |
| ○(26)             | <i>Lophatherum gracile</i> , BRONGN. <i>var.</i> <i>elatum</i> , HACK.          | ちやくち   |
| (27)              | <i>Panicum Crus Galli</i> , L. <i>var.</i> <i>nuticum</i> , HACK.               | のびえ    |
| ○(28)             | <i>Paspalum Thunbergii</i> , KUNTH.   | すずめのひえ |
| (29)              | <i>Pogonatherum saeccharoides</i> , BEAUV. <i>var.</i> <i>monandrum</i> , HACK. | いたちがや  |
| (30)              | <i>Setaria viridis</i> , BEAUV.   | えのころぐち |
| <sup>H</sup> (31) | <i>Spinifex squarrosus</i> , L.   | つみさげ   |

○(32) *Sporobolus elongatus*, R. Br.

ねずみのを

(33) *Tharrea sarmentosa*, PERS.

すなわち

○(34) *Zoysia pungens*, WILLD.

しば

○(35) *Zoysia pungens*, WILLD. var. *tenuifolia*, MAK.

とうせんしば

Cyperaceae.

○(36) *Cyperus rotundus*, L.

はますげ

○(37) *Eleocharis acicularis*, R. Br.

まつばる

(38) *Fimbristylis spathacea* ROTH.

しほかぜてんつき

○(39) *Kyllingia brevifolia*, ROTTE.

ひめくぐ

○(40) *Mariscus Siberianus*, NERS.

くぐ

(41) *Pycurus globosus*, REICHB. var. *stricta*, HOOK.

あざがやつり

○(42) *Rhynchospora glauca*, VAHL.

とらのはなひげ

(43) *Scirpus Cyperinus*, KUNTH. var. *concolor*, MAK.

あぶらがや

Palmae.

○(44) *Didymosperma Engleri*, WARR.

くろこぐ

○(45) *Livistona chinensis*, R. Br.

びらう

Araceae.

○(46) *Alocasia macrorrhiza*, SCHOTT.

まんしういも



○(47) *Arisaema ringens*, SCHOTT.

むたしあぶみ

(48) *Pinellia tripartita*, SCHOTT.

おほはんげ

Lemnaceae.

○(49) *Spirodela polyrhiza*, SCHLEID.

うさくち

Commelinaceae.

○(60) *Commelina benghalensis*, L.

まるばつゆくち

○(51) *Commelina communis*, L.

つゆくち

○(52) *Pollia japonica*, HARRIS.

やぶめうが

Liliaceae.

(53) *Asparagus lucidus*, LINDL.

くちすがかづら

○(54) *Dianella nemorosa*, LAM.

あせやうらん

○(55) *Lilium longiflorum*, TH.

つつぼうゆり

○(56) *Smilax China*, L.

ちるとりいばら

(57) *Smilax stenopetala*, A, GR.

ちつまさんきらい

Amaryllidaceae

○(58) *Crinum asiaticum*, L. var. *japonicum*, BAK.

はまおもと

Zingiberaceae.

○(59) *Alpinia chinensis*, ROSC.

あをのくまたけらん

Orchidaceae.

OH(60) *Habenaria tentaculata*, REICH. var. *scutifolia*, HAYATA.

Piperaceae.

(61) *Peperomia japonica*, MAK.

わたせう

○(62) *Piper Futo-kadzura*, SIEB. et ZUCC.

ふうとうかづら

Fagaceae.

○(63) *Pasania cuspidata*, OERST.

しひのき

Ulmaceae.

(64) *Celtis sinensis*, PERS.

えのき

Moraceae.

○(65) *Ficus erecta*, TH.

いぬびは

OH(66) *Ficus nervosa*, HEXNE.

ながばあかう

○(67) *Ficus pumila*, L.

おほいたび

○(68) *Ficus retusa*, L. var. *nitida*, MRO.

がづまる

○(69) *Ficus Wightiana*, WALL. var. *japonica*, MRO.

あかう

○(70) *Morus indica*, L.

しまぐは

Urticaceae.

○(71) *Boehmeria nivea*, HOOK. et ARN.

からむし

○(72) *Pouzolzia hirta*, HASSK.

つるまを

Loranthaceae.

(73) *Viscum japonicum*, TH.

ひのきばやどりぎ

Polygonaceae.

○(74) *Polygonum Blumei*, MEISN.

いぬたで

○(75) *Polygonum chinense*, L.

つるそば

○(76) *Polygonum hydropiper*, L.

やなぎたで

<sup>M</sup>(77) *Polygonum Kawagoeanum*, MAK.

しまひめたで

(78) *Rumex acetosa*, L.

すかんぼ

Chenopodiaceae.

(79) *Atriplex tatarica* L.

はまわかぢ

Amarantaceae.

(80) *Achyranthes bidentata*, BL. var. *longifolia*, MAK.

ながばしのこつち

○(81) *Amarantus Blitum*, L.

うぬびぢ

(82) *Philoxerus Wrightii*, HOOK. F.

いそふぢぢ(こけがしとら)

Nyctaginaceae

<sup>H</sup>(83) *Pisonia excelsa*, BL.

らぶのか

Aizoaceae.

H(84) *Sesuvium Portulacastrum*, L.

はまみつば

○(85) *Tetragonia expansa*, AIT.

つるな

Portulacaceae.

○(86) *Portulaca oleracea*, L.

すべりひゆ

Ranunculaceae.

(87) *Olematis chinensis*, REIZ.

しまぼたんづる

○(88) *Olematis paniculata*, TH.

せんになさう

Menispermaceae.

(89) *Cocculus laurifolius* DC.

かうしろうやく

○(90) *Stephania hernandifolia*, WAI-P.

はすのはかづら

Magnoliaceae.

○(91) *Kadsura japonica*, DUN.

ひなんかづら

Lauraceae.

○(92) *Cassythia filiformis*, L.

しまねなし かづら

○(93) *Cinnamomum pedunculatum*, NEES.

やぶにくけい

○(94) *Cinnamomum sericeum*, STEB.

まるばにくけい

○(95) *Litsea japonica*, JUSS.

はまびな

○(96) *Machilus Thunbergii*, STEB. et ZUCC.

うねいね

(97) *Tetradenia gaucha*, MARSUM.

しろだも

Papaveraceae.

○(98) *Corydalis pallida*, PERS. var. *platycarpa*, MAX.

はまきけまん

Capparidaceae.

(99) *Crataeva religiosa*, FORST.

ぎよぼく

Crassulaceae.

<sup>H</sup>(100) *Sedum uniflorum*, HOOK. et ARN.

こごめまんねんぐち

(101) *Sedum formosatum*, N. E. BR.

はままんねんぐち

Saxifragaceae.

<sup>OT</sup>(102) *Hydrangea chinensis*, MAX.

しまこんてりぎ

Rosaceae.

(103) *Agrimonia pilosa*, LEDER. var. *viscidula*, KOMAR.

さんみづひき

(104) *Osteomeles anthyllifolia*, LINDL.

いそざんしょう

○(105) *Rhaphiolepis umbellata*, MAK.

しやりんばい

(106) *Rosa laevigata*, FR. et ROCH.

はまいばら

○(107) *Rubus Sieboldii*, BR.

ほうろくいちご

(108) *Rubus sorbifolius*, MAX.

こじさいちご

○(109) *Rubus triphyllus*, TH.

なはしろいちご

## Leguminosae.

- (110) *Aeschynomene indica*, L. くさねむ  
○(111) *Albizia julibrissin*, DURRAZ. ねむのみ  
<sup>H</sup>(112) *Caesalpinia Nuga*, AIT. なんてんかづら  
○(113) *Canavalia lineata*, DC. はまなたまめ  
(114) *Cassia Tora*, L. ゑびすぐさ  
<sup>H</sup>(115) *Cladrastis Tashiroi*, YATARE. しまえんどの  
(116) *Desmodium laburnifolium*, DC. うじくさ  
○(117) *Desmodium polycarpum*, DC. くちはぎ  
○(118) *Lespedeza juncea*, PERS. *var.* *sericea*, MAX. めどはぎ  
(119) *Lespedeza striata*, HOOK. et ARN. やはずさう  
(120) *Lotus australis*, ANDR. しろばなのみやこぐさ  
(121) *Melilotus suaveolens*, LEDER. しながははぎ  
(122) *Rhynchosia volubilis*, LOUR. たんざりまめ  
○(123) *Pueraria Thunbergiana*, BENTH. くづ  
<sup>OH</sup>(124) *Vigna lutea*, A. GR. はまあづき

## Oxalidaceae.

- (125) *Oxalis corniculata*, L. かたばみ

Rutaceae.

○(126) Fagara ailanthoides, ENGR.

からすざんしょう

(127) Fagara schinifolia, ENGR.

いぬざんしょう

Polygalaceae.

(128) Polygala japonica, HOUTT.

ひめはぎ

Euphorbiaceae.

(129) Acalypha australis, L.

えのきぐさ

○(130) Daphniphyllum macropodum, MRO.

ゆづりは

○(131) Glochidion obovatum, STEB. et ZUCC.

かんこのき

II(132) Euphorbia Atoto, FORST.

はまたいげき

○(133) Mallotus japonicus, MUELL. ARG.

あかめがしは

(134) Mallotus philippinensis, MUELL. ARG.

くすのはがしは

(135) Mercurialis leiocarpa, STEB. et ZUCC.

やまあむ

(136) Securinega fluggeoides, MUELL. ARG.

ひとつばはぎ

Celastraceae.

(137) Celastrus articulatus, TH.

つるらめもどき

○(138) Euonymus japonica, TH.

まねき

Vitaceae.

○(139) Ampelopsis heterophylla, STEB. et ZUCC.

のぶだう

(140) Cissus japonica, WILLD.

やぶからし

○(141) Vitis Thunbergii, STEB. et ZUCC.

ぶびづる

Malvaceae.

○(142) Aberrimoschus moschatus, MEDIC.

とろろあふひもどき

(143) Hibiscus tiliaceus, L. var. Hamabo, MAX.

はまばう

(144) Sida rhombifolia, L.

きんこじくわ

OH(145) Urena lobata, L. var. tomentosa, MRO.

おほぼんでんくわ

Theaceae.

○(146) Eurya emarginata, MAK.

はまひさかき

Violaceae.

○(147) Viola grypoceras, A. GR.

たちつぼすみれ

○(148) Viola Patrinii, DC. var. chinensis, GRINA.

すみれ

Flacagnaceae.

○(149) Flacagnus macrophylla, TH.

まるばぐみ

Lythraceae.

(150) Rotala indica, KOEHNKE. var. uliginosa, KOEHNKE.

さかしぐた

Oenotheraceae.



(151) *Ludwigia prostrata*, ROXB.

てうじたで

Araliaceae.

○(152) *Fatsia japonica*, DECNE. et PLANCH.

やつで

(153) *Hedera Helix*, L. *var. colchica*, C. KOCH.

きづた

○(154) *Scheffera octophylla*, HAMMS.

ふかのき

Umbelliferae.

○(155) *Centella asiatica*, URB.

つぼくち

○(156) *Cryptotaenia canadensis*, DC. *var. japonica*, MAK.

みつばざり

○(157) *Hydrocotyle rotundifolia*, ROXB.

ちどめぐち

○(158) *Pencilanum japonicum*, TH.

ぼたんにんじん

(159) *Phellopterus littoralis*, BENTH.

はまばうふう

Cornaceae.

○(160) *Aucuba japonica*, TH.

あをき

Ericaceae.

○(161) *Rhododendron* sp.

こやしやんぼ

○(162) *Vaccinium bractatum*, TH.

こやしやんぼ

Myrsinaceae.

○(163) *Ardisia Sieboldi*, MRO.

もくたちばな

○(164) *Maesa japonica*, MORITZI. var. *latifolia*, MIQ.

うぐせんりよら

Primulaceae.

○(165) *Lysimachia lineariloba*, HOOK. et ARN.

はちぼつす

Plumbaginaceae.

II(166) *Statice sinensis*, (HIRARD).

Sapotaceae.

(167) *Sideroxylon ferrugineum*, HOOK. et ARN.

わかてつ

Oleaceae.

(168) *Ligustrum lbota*, STEB.

しばたのき

(169) *Ligustrum japonicum*, TH.

ねずみもち

Apocynaceae.

○(170) *Anodendron leavee*, MAX.

あかきかづら

○(171) *Trachelospermum jasminoides*, LEMAIRE.

ていかかづら

Asclepiadaceae.

○(172) *Hoya carnosae*, R. BR.

あくららん

(173) *Maunderia tomentosa*, MORR. et DECNE.

あじよらん

(174) *Stephanotis chinensis*, CHAMP.

したきりあら

(175) *Tylophora Tanakae*, MAX.

つるもうりんくわ

Convolvulaceae.

○(176) *Calystegia Soldanella*, R. BR.

はまひるがほ

○(177) *Dichondra repens*, FORST.

あふひぞけ

○(178) *Ipomaea biloba*, HENRY.

うちはかづら

(179) *Ipomaea congesta*, R. BR.

のあさがほ

Borraginaceae.

II(180) *Tournefortia argentea*, L. f.

もんばのみ

Verbenaceae.

○(181) *Calliandra japonica*, TH.

むらたましきぶ

II(182) *Clerodendron inerme*, GAERTN.

いぼたくちぎ

○(183) *Clerodendron tricotomum*, TH.

くちぎ

(184) *Lippia nodiflora*, RICH. var. *sarmentosa*, SCHAU.

いはだれらう

II(185) *Vitex trifolia*, L. f. var. *trifoliolata*, SCHAU.

みつばはまどう

Labiatae.

○(186) *Glinopodium gracile*, O. KUNTZE.

たらばな

(187) *Leucas javanica*, BENTH.

やんばるつるはくか

○(188) *Mosla punctata*, MAX.

いぬかうじゆ

(189) *Perilla ocimoides*, L.

えごま

Solanaceae.

(190) *Capsicum anomalum*, FR. et SAV.

はだかほほづき

○(191) *Physalis angulata*, L.

せんなりほほづき

OH(192) *Solanum biflorum*, LOUR.

めじろほほづき

(193) *Solanum nigrum*, L.

いぬほほづき

Scrophulariaceae.

○(194) *Lindernia angustifolia*, WERTS.

あぜたうがらし

Acanthaceae.

(195) *Justicia procumbens*, L.

きつねのまど

Plantaginaceae.

○(196) *Plantago major*, L. *var* *asiatica*, DECNE.

おはばこ

Rubiaceae.

(197) *Galium trifidum*, L.

ほそばのよつばもぐら

○(198) *Gardenia florida*, L.

くちなし

H(199) *Mussaenda parviflora*, MIQ.

こんろんくわ

OH(200) *Oldenlandia hispida*, BENTH.

けにほひぐさ

○(201) *Oldenlandia paniculata*, L.

そなれもぐら

○(202) *Paederia tomentosa*, BL.

はくそかづら

○(203)	<i>Psychotria serpens</i> , L.	いはづたひ
	Caprifoliaceae.	
○(204)	<i>Sambucus javanica</i> , Bl.	そくづ
	Cucurbitaceae.	
†(205)	<i>Bryonopsis lasinosa</i> , Naud.	おきなはずめうり
○(206)	<i>Trichosanthes cucumeroides</i> , Max.	からすうり
	Cannabaceae.	
○(207)	<i>Waltherbergia gracilis</i> , A. DC.	ひなぎきやう
	Goodeniaceae.	
OH(208)	<i>Senecioia Koenigii</i> , Vahl,	くさとべら
	Compositae.	
(209)	<i>Artemisia vulgaris</i> , L. var. <i>indica</i> , Max.	よもぎ
(210)	<i>Asteromaea indica</i> , Br.	よめな
○(211)	<i>Bidens pilosa</i> , L. var. <i>albiflora</i> ; Max.	しろばなのせんだんぐら
○(212)	<i>Bidens tripartita</i> , L.	たうこぎ
○(213)	<i>Carpesium divaricatum</i> , Sieb. et Zucc.	がんくびさう
○(214)	<i>Centipeda orbicularis</i> , Lour.	とまんさう
(215)	<i>Cirsium brevicaule</i> , A. Gr.	はまわぢみ

- (216) *Orepis japonica*, PENTH. おにたびらこ
- (217) *Orepis lanceolata*, MAK. ほそばわだん
- (218) *Dichrocephala latifolia*, DC. ふくりようさい
- (219) *Eclipta alba*, HASSK. たかさぶらう
- (220) *Lactuca laciniata*, MAK. めきのげし
- (221) *Lactuca repens*, BENTH. はまにがな
- (222) *Senecio sonchifolia*, MOENCH. うすべににがな
- (223) *Siegesbeckia orientalis*, L. めなもみ
- (224) *Sonchus oleraceus*, L. のげし
- <sup>H</sup>(225) *Vernonia cinerea*, LESS. むらさきむかしよもぎ
- <sup>OH</sup>(226) *Wedelia calendulacea*, LESS. くまのぎく
- (227) *Wedelia prostrata*, HENSL. はまぐるま
- (228) *Xanthium strumarium*, L. をなもみ

第二節 寶島自生植物ノ數

右ノ目錄ニヨリ寶島ニ産スル自生植物(羊齒類以上)ノ數ヲ示セバ次ノ如シ

科ノ數	七七
屬ノ數	一九四
種ノ數	二二八

以上ノ植物ハ明治四十三年八月二十三日ヨリ同月二十八日ニ至ル間ニ於テ調査セシモノニシテ、一々余ガ實物ニ就キテ筆記セルモノナリ、尙右ノ他ニ余ノ見落シタルモノ、或ハ野帳ニ記シ漏レシモノアリシヤ計リ難シト雖モ、此島ハ中之島ニ比シ面積狹カリシヲ以テ、足跡ノ至ラザリシ所比較的少ク、從テ彼レニ比シ一層精密ナル調査ヲ爲シ得タリ、本島ノ植物學の調査ニ關スル文獻ノ倚ルベキモノナシ、因テ此報文ニシテ多少斯道ノ參考トナラバ幸甚ナリ、

### 第三節 寶島植物中ノ新種及未詳品

上記寶島自生植物目錄中新種竝ニ未詳ノ品ニ付キ左ニ略說スベシ、  
(各品ニ付シタル番號ハ寶島自生植物目錄ノ番號ナリ)

(77) *Polygonum Kawagocanum*. Mak.

しまひめたで

此品ハ牧野富太郎氏新種ト認メ、採集者タル余ノ姓ヲ取リテ命名セラレシモノニシテ、大正三年(一九一四年)四月植物學雜誌第二十八卷第三百二十八號百十六頁ニ詳細ナル記載ヲ舉ゲ發表セラレタリ、

(161) *Rhododendron* sp.

此品ハ中之島ノ山上ニテ見シ疑問品ト同種ナリ、

### 第四節 寶島自生植物中ノ奄美大島及ビ沖繩分子

以上列舉セル寶島產自生植物中ニテ奄美大島及沖繩的分子、或ハ尙其以南ノ分子ト認ムベキモノヲ次ニ舉ゲントス、尙中之島ノ條ニ於テ述ベタル、同島產自生植物中ノ奄美大島及沖繩分子ニシテ尙此寶島ニモ産スルモノハ重複ノ繁ヲ顧ミズ、敢テ之ヲ省カズ、對照ニ便ナランガ

爲ナリ、

Pinus lucuensis, MAXR.

りうさうまつ

Pandanus tectorius, SOL.

あだん

◎Spinifex squarrosus, L.

つきいげ (種子島ニモ産ス)

Thunarea summentosa, PERS.

すなざさ

◎Didymosperma Engleri, WARB.

くろつぐ

◎Lilium longiflorum, TH.

てつぼうゆり

◎Alpinia chinensis, ROSC.

あをのくまたけらん

◎Habernaria tentaculata, REICH. var. acanthifolia, HAYATA.

◎Picus nervosa, HEYNE.

ながばあかう

◎Picus retusus, L. var. nitida, MIQ.

かづまる

◎Morus indica, L.

しまぐは

Polygonum Kawagoanum, MAK.

しまひめたで

Phloxerus Wightii, HOOK. f.

いそふさぎ

Pisonia excelsa, BL.

うどのき

Sesuvium Portulacastrum, L.

はまみつば

Clematis chinensis, RETZ.

しまぼたんづる

◎Cassytha filiformis, L.

しまねなしかづら



- Hydrangea chinensis*, MAX.  
 しやこんてりぎ
- Osteomeles anthyllifolia*, LINNÉ.  
 いそざんしろう
- Caesalpinia Nuga*, ARR.  
 なんてんかづら
- Cassia Tora*, L.  
 ゑびすぐさ
- Lotus australis*, ANDR.  
 しるばなのみやこぐさ
- Vigna litsea*, A. GR.  
 はまめづき
- Euphobia Atoto*, FORST.  
 はまたいげき(屋久島ニモ産ス)
- Mallotus philippinensis*, MUETT. ARG.  
 くすのはがしは
- Sida rhombifolia*, L.  
 きんとじくわ(種子島ニモ産ス)
- Urena lobata*, L. var. *tomentosa*, MRO.  
 おほぼんでんくわ
- Statice sinensis*, GIRARD.  
 あかてつ
- Sideroxylon ferruginum*, HOOK. et ARN.  
 むんばのき
- Tournefortia argentea*, L. f.  
 いぼたくさき
- Clerodendron inerme*, GAERTN.  
 みつばはまごう
- Vitex trifolia*, L. f. var. *trifoliolata*, SCHAU.  
 やんばるつるはくか
- Laetia javanica*, BENGT.  
 けにはひぐさ
- Oldenlandia hispida*, BENGT.  
 おきなはずめうり
- Bryonopsis lasinosa*, NAUD.

*Oseaevola Koenigii*, Vahl.

*Vernonia cinerea*, Less.

くさとべら

むらさきむかしよもぎ

以上三十七種ナリ、尙右ノ他ニ南方ノ分子ト認ムベキモノアレドモ、九州本島以北ニ自生セルヲ知レルモノハ之ヲ擧ゲズ、右ノ内○章ヲ附シタル十三種ハ即中之島ニモ自生セルモノ⊕章ノ一種ハ屋久島ニモ自生シ、◎章ノ二種ハ種子島ニモ産ス、他ノ二十一種ハ即中之島以北ニテ見ザリシモノナリ、是ヲ以テ寶島ニハ中之島ニ比シテ南方ノ分子ノ著シク増シタルヲ知ルベシ、

### 第九章 寶島ノ植物組成區

寶島モ中之島ニ於ケル如ク、植物組成區ノ差別ハ専ラ土地ノ關係ニ因ルモノニシテ、且ツ島ノ中央ナル最高地モ海拔僅ニ二百六十三米突ナルヲ以テ、全島中海拔ノ高低ニヨリ植物組成ノ區別セラル、コト殆全ク無シト稱シテ可ナリ、既ニ前章ニ述ベタル如キ地勢ニ基キ次ノ五區ニ分ツヲ便トス、

一、森林區

二、草原區

三、砂濱區

四、礁濱區

五、耕地區

### 第一節 森林區

此島ノ森林ヲ二大別シ得ベシ、即一ハ濕地林ニシテ他ハ海岸林ナリトス、

(甲) 濕地林、此レハ島ノ所々ヨリ泉ヲ湧出シ、其部分ハ土地能ク潤ヒ、一般植物ノ生長繁茂ニ適ス、故ニ此等ノ部分ニハ樹木最能ク繁茂シ、人家モ密集セリ、此區ノ主ナル植物次ノ如シ、

いぬまき、かんざんちく、くろつぐ、しひのき、えのき、いぬびは、がづまる、ながばあかう、しまぐは、うどのき、かうしううやく、やぶにくけい、しろだも、いぬぐす、ぎよぼく、しやりんばい、ねむのき、うじくさ、いぬざんしよう、ゆずりは、くすのはがしは、あをき、やつで、ふかのき、もくたちばな、いづせんりよう、あかてつ、ねずみもち、むらさきしきぶ、こんろんくわ、くちなし等ナリ、

尙海ニ近キ方ニハリうきうまつ、びらうノ多キ所アリ、山手ニハしやしやんぼ及ビ *Rhododendron* sp. (161) 等混生ス、

以上ハ此區ノ主ナル喬木及灌木ナルガ、其間ニハ次ノ如キ蔓性植物及攀縁性植物アリ、  
さるとりいばら、さつまさんきらい、ふうとうかづら、おほいたび、びなんかづら、ほうろくいちご、つるうめもどき、のぶだう、ゑびづる、やぶからし、きづた、さかきかづら、ていかかづら、したきさう、さくららん、きぢよらん、いはづたひ、おきなはす、めうり等、

又下草ニハ次ノ如キモノアリ、

ほしだ、へらしだ、いはひとで、やりのほくりはらん、かなわらび、はちじようしだ、ささくさ、ひめくぐ、まんしういも、むさしあふみ、おほはんげ、やぶめうが、あをのくまたけらん、さたさう、やまあゐ、みつばぜり、たうばな、はだかほづき等、

(乙) 海岸林、此區ハ砂濱ニ近接シ、之ト高低ノ差大ナラザル所、或ハ隆起珊瑚礁ヨリナレル臺

地ト砂濱トガ比較的緩ナル傾斜ヲナシテ連續セル所等ニシテ、即潮風ノ影響ヲ被ル事多ク、爲ニ植物ノ種類特殊トナレリ、其主ナルモノヲ舉グレバ

そてつ、りうきうまつ、くろまつ、あだん、だんちく、さつまさんきらい、まるばにくけい、はまびは、まさき、しやりんばい、はまいばら、しまえんじゆ、なんてんかづら、はまぼう、はまひさかき、まるばぐみ、みつばはまごう、いぼたくさぎ、等ノ木本、及ビたましだ、おにやぶそてつ、しまねなしかづら、はまなたまめ等ノ草本ナリ。

## 第二節 草原區

此區ハ隆起珊瑚礁ヨリナレル臺地ニシテ、島ノ半面ヲ環セリ、土地肥沃ニシテ、土壤ノ層深キ所ハ良好ナル甘蔗畑ニ利用セラレ、其他主トシテちがやヲ密生セル、廣ク平坦ナル天然ノ牧場ヲナセル土地アリテ、島民ノ牧牛ニ利用セル所アリ、又灌木其間ニ多數點在シ、遂ニ山地ニ連互セル部分モアリ、此區内ノ主ナル植物ハ次ノ如シ、

つるしのぶ、こしだ、にはほこり、ちがや、すずめのひえ、ゑのころぐさ、ねずみのを、しば、くぐ、あぶらがや、とらのはなひげ、つゆくさ、ききょうらん、さるとりいばら、つるそば、いぬたで、しまひめたで、ながばのゐのこづち、せんになさう、はすのはかづら、はまきけまん、きんみづひき、なはしろいちご、くさねむ、くさはぎ、めどはぎ、やはすさう、たんきりまめ、くず、ひめはぎ、かんこのき、あかめがしは、ひとつばはぎ、ゑびづる、おほぼんでんくわ、とろろあふ、ひもどき、きんごじくわ、すみれ、つぼくさ、ちどめぐさ、つるもうりんくわ、のあさがほ、いぬかうじゆ、やんばるつるはくか、

きつねのまご、おほばこ、へくそかづら、ほそばのよつばもぐら、そくづ、からすうり、ひなぎきやう、よもぎ、よめな、たうとき、しろばなせん、だんぐさ、がんくびさう、おにたびらこ、あきのげし、うすべににがな、のげし、めなもみ、むらさきむかしよもぎ等、

### 第三節 砂濱區

此區ノ土地ハ珊瑚蟲類ノ骨骸、介殼等ノ石灰質物ノ破片ヨリナレル白砂ノ波浪ニ打チ揚ゲラレ堆積シテ生ジタル陸地ニシテ、島ノ南半面ヲ縁取リ、廣キ面積ヲ占ム、或ル部分ハ前記ノ海岸林ニ接シ、或ル部分ハ絶壁或ハ急斜坂ヲ境トシテ、前記ノ臺地草原區ニ隣ス、此區ノ主ナル植物次ノ如シ、

あだん、すなぎさ、てうせんしば、つきいげ、しほかせてんつき、くさすぎかづら、はまおもと、はまわかぎ、つるな、はまみつば、しまねなしかづら、こごめまんねんぐさ、はままんねんぐさ、はまなたまめ、しながははぎ、はまわづき、しろばなのみやこぐさ、はまたいげき、ぼたん、にんじん、はまぼうふう、はまぼつす、つるもうりんくわ、はまひるがほ、うちはかづら、もんばのき、いはだれさう、そなれもぐら、くさとべら、ほそばわだん、はまわざみ、はまにがな、はまぐるま、くまのぎく、等

### 第四節 藻濱區

此レハ區トシテ別ニ書ク程ノ地域ニアラザレドモ、海岸ノ浪打際、或ハ砂濱中ニ隆起セル珊瑚礁ノ罅罅ニ根ヲ下シテ固着セル植物アリ、是レ他ノ砂上等ニ生ズルモノト自ラ種類異ナリ故ニ特ニ別チテ此區ヲ設ク、其内ニテ、浪打際ニ在リテ、常ニ浪ノ飛沫ヲ被ルベキ所ノ岩礁ニ着生セルモノニハ、木本ニテいそざんしよう、*Clatice sinensis* (Gunnard) アリ、草本ニハいそふさぎアリ、

尙てうせんしば、そなれもぐら等モ斯カル状態ニ生育スルコト多シ、次ニ浪打際ヲ稍離レシ所ノ岩礁ニハてつぼうゆり、しまむろ等固着セリ、

### 第五節 耕地區

此島ノ耕地ニ三種アリ、一ハ森林區(甲)濕林區内ニ在リ、即所々ヨリ泉湧出シ、土壤濕潤ニシテ草木繁茂シ、人家稠密ナル部分ニシテ、從テ庭園、畑地等モ多ク尙水田サヘアリ、二ハ開濶ナル草原ノ一部分ニシテ、土壤稍深キ所ヲ耕耘シテ甘蔗畑トナセル所是レナリ、三ハ砂濱ノ一部分ヲ小割シ、周圍ニあだんヲ植エテ防風ニ備へ、其内ニテ畑作ヲ營メル所是レナリ、即以上三種ハ夫々森林區、草原區及ビ砂濱區(或ハ乙)海岸林區ニ屬スル土地ナルヲ以テ、夫々上記ノ如キ其區特有ノ草本ガ雜草トシテ生ズル事アルハ勿論ナレドモ、尙此等ノ耕地ニシテ始メテ生ジ易キ種類亦少カラズ、即次ニ記スモノ、如キ是レナリ、

ゐのもとさう、のびえ、いたちがや、はますげ、まつばる、ひめくぐ、あぜがやつり、まるばつゆくさ、つゆくさ、いぬびゆ、すべりひゆ、えびすぐさ、かたばみ、えのきぐさ、たちつぼすみれ、つぼくさ、あふひこけ、せんなりほほづき、あぜたうがらし、おほばこ、よめな、ときんさう、ぶくりようさい、たかさぶらう、等、

尙沼地ニ於テハひるむしろ、とりげも、うきくさ、きかしぐさ、ちやうじたで等ヲ生ズ、

第十章 寶島ノ栽培植物及ビ其利用

左ニ寶島ノ栽培植物ノ目錄ヲ掲ゲン。

Pinaceae.

*Cryptomeria japonica*, DON. すぎ 人家ノ傍及ビ山林ニ植エラル。

*Juniperus chinensis*, L. びやくしん 庭園ナドニ栽植セラレシモノナルベシ、枝ヲ切りテ墓地ニ獻華トシテ供ヘタルヲ見ル。

Gramineae.

*Andropogon Sorghum*, BROT. *subsp. sativus*, HACK. *var. vulgare*, HACK. もろこしきび 畑ニ栽培セラ  
ル。

*Bambusa nana*, ROXB. *var. normalis*, MAK. ほうらいちく 人家ノ傍ニ栽植セララル。

*Oryza sativa*, L. よね 此島ハ中ノ島ニ比シ平地比較的多ク、土質モ粘重ナルヲ以テ、灌漑ノ便少キニ係ラズ、水田所々ニアリ、島民ニシテ米食スルモノ彼ニ比シテ遙ニ多シ。

*Saccharum officinarum*, L. おたうきび 本島民ノ本業ハ即此植物ノ栽培ニ在リ、漁業ハ其副業タルニ過ギズ、此點中之島ト正反對ナリ、草原区内ニ肥沃ナル甘蔗畑多シ。

*Setaria italica*, BEAUV. おほあは 此島ニテモ尙重要ナル食用作物タルヲ失ハズ。

Araceae.

*Colocasia antiquorum*, SCHOTT. おとよも 畑ニ植エラル。

Liliaceae.

吐噶喇群島殊ニ中之島及ビ寶島ノ植物ニ就テ

*Allium fistulosum*, L. ねぎ 畑ニ植エ蔬菜トナス。

*Allium Schoenoparum*, L. わけぎ 同上

*Lilium longiflorum*, TIT. てつぼうゆり 前記ノ如ク自生モアレドモ、尙人家ニモ栽培セラ  
ル。

*Dioscoreaceae.*

*Dioscorea alata*, L. だしじよ 此植物ハ現今此島ニテハ全ク自生ノ状態ヲナシテ村落各  
所ノ森林、草原中ニ産ス、島民其根ヲ採集シテ賞味ス、方言こうしやいもト云フ、元來ノ自  
生トハ決シテ思ハレズ、元他ヨリ移入シ、栽培セシモノ逸生シタルモノナルベシ、余ハ大  
島郡焼内村篠川ノ沿道ニテ此植物ノ自生ノ狀ヲナシテ生ズルヲ見タリ、沖繩ニテハ畑  
ニ栽培セラレ、南洋諸島ノ土人が常食ノ一トセル所謂 *Kum* (何レモ *Dioscorea* 屬ノモノナ  
リ)ト稱スルモノ、内最優良ナルハ此植物ナリ。

*Musaceae.*

*Musa Inkinensis*, (MATSUM.) MAK. ろうきうばせを 人家ノ傍ノ明地ニ栽培セラル、所ア  
リ、又ハ殆自生カトモ見ユル所アリ、此島ニハ多ク産ス、島人此植物ノ葉柄ヨリ絲ヲ採リ、  
紡ギテ機ニ掛ケ、内地ニテ見ザル極メテ簡單ナル機ナリ、布ヲ織ル、布ハ自家用トシ、或ハ  
貯へ置キ、他島ノ人ノ來リシ時之ヲ賣ル、即沖繩産ノ芭蕉布ト同様ノ品ナリ。

*Cannaceae.*

*Canna iridiflora*, RUIZ. et PAV. たいりんだんどく 觀賞ノ爲庭園ニ植エラル。



Polygonaceae.

*Fagopyrum esculentum*, MOENCH. そば 草原ヲ拓キ極メテ粗放ナル栽培ヲナス、食用ニ供スルナリ。

Anacardiaceae.

*Celastris cristata*, L. けしとら 観賞ノ爲庭園ニ植エラル。

Nyctaginaceae.

*Mirabilis jalapa*, L. おしろいばな 同上。

Lauraceae.

*Cinnamomum Camphora*, NEES. くすのき 島内所々ニ栽植セラル。

Rosaceae.

*Prunus Persica*, STEB. et Zucc. もも 人家ノ傍ニ栽植セラル。

Leguminosae.

*Arachis hypogaea*, L. なんきんまめ 畑ニ作ル。

*Canavalia ensiformis*, DC. なたまめ 庭ニ植ウ、蔬菜用トナス。

Rutaceae.

*Citrus Aurantium*, L. *subsp. nobilis*, MAK. みかん 人家ノ傍ニ植エラル。

Meliaceae.

*Melia japonica*, DON. せんだん 村落各所ニ自生的ニ生ズ。

## Euphorbiaceae.

*Ricinus communis*, L. たうごま 現今ハ全ク自生ノ狀ヲナセリ、島人ノ言ニヨレバ十數年前、油ヲ採ル爲栽培セルコトアリシガ、現今ハ作ラズ、唯自然ニ其種子ガ残り傳ハレルナリト。

## Buxaceae.

*Buxus sempervirens*, L. つげ 人家ノ近傍ニ栽培セラル。

## Balsaminaceae.

*Impatiens Balsamina*, L. ほうせんくわ 觀賞ノ爲、庭園ニ植エラル。

## Lythraceae.

*Lagerstroemia indica*, L. やさすぐり 觀賞ノ爲、庭園ニ植エラル。

## Ebenaceae.

*Diospiros Kaki*, L. f. *var. domestica*, MAK. かき 人家ノ傍ニ栽植セラル。

## Convolvulaceae.

*Ipomaea Batatas*, LAM. *var. edulis*, NAM. ちつまいも 本島人ハ之ヲ常食ト爲スモノ少ナシ、

焼酎ノ原料トナス。

*Pharbitis hederacea*, L. あぢがほ 觀賞ノ爲、庭ニ植エラル。

## Labiatae.

*Perilla nankinensis*, DON. しそ 畑ニ植エラル。

Solanaceae.

*Capsicum annuum*, L. var. *acuminatum*, FRG. たうがらし 畑ニ植ウ香辛料トス。

*Nicotiana Tabacum*, L. たばこ 人家ノ傍ニ往々栽植ス。

Acanthaceae.

*Strobilanthes haenkei* (Nees), Nees. ろうきうあむ 人家ノ傍ニ少シク栽植セルヲ見タリ。

Chenbittaceae.

*Cremis Mele*, L. var. *Complanata*, MAK. しろうり 畑或ハ人家ノ傍ニ植ウ、蔬菜トス。

*Chenbitta meschlata*, DCHE. var. *melanocformis*, MAK. きくざとうなす(ばうふら) 同上。

*Lagenaria vulgaris*, SER. ぼうがほ 用途中之島ト同ジク、即杓ヲ作ルニ供ス。

Compositae.

*Gynura bicolor*, DC. すゐぜんじな 人家ノ傍ニ栽培ス。

第十一章 寶島自生經濟植物及其利用

效用性質等著明ナルモノハ説明ヲ略シ、又中之島ノ條ニテ詳説セルモノト同一ノ植物ニハ再  
ビ同ジ説明ヲ施サズ、唯此島ニテ特殊ノ用途アルモノ、ミハ殊ニ説明ヲ加フ。

(括弧中ノ番號ハ寶島自生植物目錄ニ記セルモノナリ)

(12) こしだ 説明ヲ略ス。

(14) そてつ

此島ニハ産額ハ極メテ少ケレドモ、南部ノ砂濱ニ接スル所ニ自生アリ、莖及種子ヨリ澱粉ヲ取ルベク、生體ハ觀賞用トシテ庭ニ植エ、或ハ盆栽トナシ、葉ハ裝飾用トシテ輸出ス、然レドモ此島ニテハ未ダ利用スルコトナシ。

(13) いぬまき

中之島ノ如ク大材ヲ多ク産スルコトナシ。

(14) しまむろ

砂濱ニ繁殖セシムレバ砂ノ沈壓ニ極メテ有效ナリ。

(15) りらきらまつ

防風林、風致木、用材トシテ有益ナリ。

(16) くるまつ

同上。

(17) あだん

此島ニテハ余等ガ渡リシ頃ハ、此植物ノ利用トテハ唯砂濱ニ近キ畑地ノ周圍ニ植エテ防風、防砂ヲ計リ、果實ハ採リテ菓ニ供ヘ、其小果ノ基部ノ多肉ナル部分ハ小兒喜ビテ咬ミ味フコト、恰モ甘蔗ノ莖ヲ咬ムニ於ケルガ如シ、又稀ニ莖ノ纖維ヲ以テ繩ヲ作ルコトアリト聞キシノミナリキ、然ルニ大正二年ニ至リテハ、沖繩ニ於テ製作移出スル所ノ夏帽子ノ原料タル此植物ノ葉追々同地ニ於テハ缺乏ヲ生ゼシ爲、沖繩ノ某帽子製作業者ハ多數ノ人夫ヲ此島ニ派シ、此植物ノ葉ノ採集ニ従事セシメタリトコ

(22) ト、余ハ同年沖繩へ渡船ノ船中ニテ一人ノ帽子製作者ヨリ聞キタリ。  
かんざんちく

(23) 中之島ノ如ク大藪林ヲ爲スコトナク、産額モ少ナシ、島民多少之ヲ利用ス。  
ちがや

此島民ハ牛、山羊ヲ飼フコト盛ナリ、即其飼料トシテ唯一最上ノ植物タリ、島ヲ圍レル  
臺地一面ニ密生シ、天然ノ好牧場ヲ形成ス、島人朝家畜ヲ曳キテ此ちがやノ原ニ至リ、  
杭ヲ打チテ緊ギ置ク、家畜ハ繩ノ延長スル範圍ノ土地ニ生ズルちがやヲ自由ニ食フ、  
翌日飼主行キテ杭ヲ抜キテ更ニ草ノ新シキ所ニ移ス、斯クノ如ク専ラ此植物ニヨリ  
テ家畜ヲ養フモノニシテ、本島民ニ取り最重要ナル植物ノ一タリ。

(34) しば  
右放牧地ニちがやト混ジテ生ジ、同ジク家畜ノ飼料トナル。

(35) てうせんしば  
海岸ニ近キ平坦ナル珊瑚礁上ニ密生シ、極メテ美麗ナル天然芝生ヲ成ス、庭園ニ利用  
シテ頗ル可ナルコト、中之島ノ條ニ述ベタル所ノ如シ。

(44) くるつぐ  
中之島ノ條參照。

(45) びろろ  
本島ノ一角ヲナセル高地ニ多數生ズ、島民中之島ニ於ケル如キ利用ハ爲サバルモノ

ノ如シ。

(53) くさすぎかづら

所謂天門冬ニシテ根ヲ砂糖ニ漬ケ、菓子トシテ古來用キシモノナリ、島民利用セズ。

(55) てつぼうゆり 説明略ス。

(58) はまおもと 中之島ノ條參照。

(59) あをのくまたけらん

中之島ト同ジクしやにんと稱シ、繩ヲ作ルニ用キラル。

(63) しひのき 説明略ス。

(68) がづまる 中之島ノ條參照。

(70) しまぐわ 同上。

(71) からむし 同上。

(83) うどのき

此植物ハ分布上極メテ興味アルモノナリ、小笠原、琉球、臺灣ハ我國範圍内ニ於ケル產地トシテ知ラレシモノナルガ、惟フニ此島ガ從來知ラレシ此植物ノ產地ノ北限ナラシカ、果實ヲ包メル Anthocarp ノ表面ノ、縦ニ走レル五ツノ稜ヨリ粘液ヲ分泌セリ、是レ鳥類ノ羽毛、脚等ニ粘着シ、果實、從テ種子ノ遠隔ノ地ニ運バル、ニ至ルナリ、此木ノ新芽ハ蔬菜トシテ食用ニ供セラル、モノナレド、島民之ヲ利用スルコトナシ。

(84) はまみつば

蔬菜トシテ食フベシ、本島人之ヲ利用セルヤ否ヲ聞カズ。

(85) つるな 同上。

(89) かうしううやく

庭園木トシテ觀賞セラル、モノナリ。

(91) びなんかづら 説明略ス。

(93) しまねなしかづら 中之島ノ條參照。

(93) やぶにくけい 同上。

(96) うぬぐす 説明略ス。

(99) ぎよぼく

本島ニテモあまぎト稱ス、材ヲ刻リテいか釣りノ餌木ヲ作ル、本島民モ之ヲ利用ス。

(102) しまこんてりぎ

中之島ノ條參照。

(104) うそぎんしょう

内地ニテ盆栽トナシ愛玩セラル、ハ能ク人ノ知ル所ナリ。

(105) しやりんばう

中之島ノ條參照。

(114) ゑびすぐさ

内地ニテハ之ヲ栽培シ、はぶさうト同ジク、毒蟲ニ刺サレシトキ葉ヲ揉ミテ塗付シ、或

ハ葉莖ヲ煎ジテ藥用ニ供スルコト、人ノ能ク知ル所ナリ、本島人之ヲ利用セルヲ聞カズ。

(119) やはずさう

(121) しながははぎ

歐洲ニテハ右二種ノ植物ヲ牧草トシテ利用セル所アリ。

(123) くづ 説明略ス。

(134) くすのはあかめがしは

此植物モ分布上甚興味アルモノニシテ、或ハ此島ガ此植物ノ產地ノ北限ナランカト惟ハル、沖繩、臺灣ニ産スルコトハ既ニ知ラル、此植物ノ果實ノ果皮ノ表面ヨリ赤色ノ分泌物生ズ、之ヲ集メテ得タル粉狀物ヲ *Kamala* 或ハ *Glandulae Rottleriae* ト稱シ、繭蟲ノ驅除劑トシテ用キラレ、又ハ絹ヲ黄色ニ染ムルニ用キラル、印度ヨリハ多少輸出セラルト云フ、尙種子ヨリハ *Cumil* 油ト稱スル透明鮮褐色ノ油ヲ製シ得ト云フ、本島ニテハ利用セラル、コトナシ。

(142) とろろあふひもどき 中之島ノ條參照

(143) はまぼう 靱皮ノ纖維ヲ利用シ得ベシ

(144) きんごじくわ

(145) おほぼんでんくわ

以上二種モ亦纖維ヲ利用シ得ト雖モ、本島ニテモ利用スルコトナシ。



(156) みつばぜり 説明略ス。

(159) はまぼらうふう 同上。

(166) *Statice sinensis*, GIRARD.

此植物モ分布上甚興味アルモノナリ、此植物ニ近似セル *Statice Wrightii*, HANCE. (むらさきいそまつ)ハ大島、沖繩等ニモ産シ、余モ初メ此植物ヲ「むらさきいそまつ」ナランカト思ヒシガ、早田博士ノ鑑定ニ從ヒ、斯ク記シヌ、果シテ然ラバ我國ノ Floraニ初メテ表ハレタルモノト認ム、*S. sinensis*, GIRARD 然ハ *S. Fortunii*, LINDL. ナル異名アリ、支那秦皇島ニモ之ヲ産スト云フ。

(167) あかてつ

材ハ用材トナリ、樹皮ヲ傷クレバ粘液流出シ固マリテ繭ノ如クナル、是レ一種ノ粗性ナル *Gutta-percha* ナリ。

(172) さくららん 中之島ノ條參照。

(189) えごま 説明略ス。

(197) くちなし 同上。

(206) からすうり 同上。

### ○ 結 論

一、吐噶喇列島ハ其位置ガ九州南端ト奄美大島トノ間ニ在ルガ如ク、其 Floraモ亦九州南端ト大島トノ中間ノ分子ヨリナレリ。

- 一、周年霜雪ヲ見ズ、且ツ雨量潤澤ナルヲ以テ、植物ノ生育甚旺盛ナリ。
- 一、列島ノ北部ニ属スル中之島ニ産スル自生植物ノ數約三百五十三種、其内九州本島南端以北ニ無キ分子約四十二種ヲ含ム。
- 一、列島ノ南端寶島ニ産スル自生植物ノ數ハ約二百二十八種、其内九州本島最南以北ニ無キ分子約三十六種ニシテ、其内中立島以北ニ於テ見ザリシモノ二十一種ナリ。
- 一、當列島ニハ新種ト稱スベキモノ極メテ少ナシ、本調査ニ際シテ得タルモノハ *Polygonum Kawagoeanum*, MAK. (しまひめたで) 唯一種ニシテ、尙他ニ疑問ノモノ數種アルノミ。
- 一、自生有用植物中、其産額多ク多少有望ト認ムベキモノハ次ノ如シ。
  - 中之島ニテハ

*Cortinellus Shiitake*, P. HENN.

しひたけ

*Podocarpus macrophylla*, Don.

いぬまさ

*Trema orientalis*, Bl.

うらじろえのき

*Michelia compressa*, MAX.

をがたまのき

*Hex Othera*, SPRENG.

もちのき

*Taonabo japonica*, SZYSSZ.

もくこく

*Osmanthus bracteatus*, MARSUM.

なたおれのき

*Cladium glomeratum*, R. BR.

わあんぺら

寶島ニテハ

*Pandanus tectorius*, SOL.

あだん

等ナリ。

一、余ノ渡島セル八月ノ季節ニ於ケル、中之島ノ栽培植物ハ總數七十一種ニシテ、寶島ニ於テハ三十七種アリ。

一、栽培植物中、内地人ニ取り稍珍ラシキモノハ、中之島ノ *Chromola zollneri*, ROSC. (かじゆつ)、寶島ノ *Dioscorea alata*, L. (たいじよ) 及兩島共ニ多ク産スル *Musa linkiuensis*, (MATSU.) MAK. (りうさうばせ) 等ナリ、然レドモ「かじゆつ」ハ中之島ヨリ近キ屋久島ニハ盛ニ栽培セラル、ヲ以テ、敢テ珍トスルニ足ラズ、又「たいじよ」モ内地ニテハ栽培セラルルコト稀ナレドモ、沖縄等ニハ盛ニ畑ニ栽培セラ、ルモノナリ、りうさうばせを「奄美大島、沖縄ニハ極メテ普通ニシテ、内地人モ熟知セル所ノモノナリ。

補 正

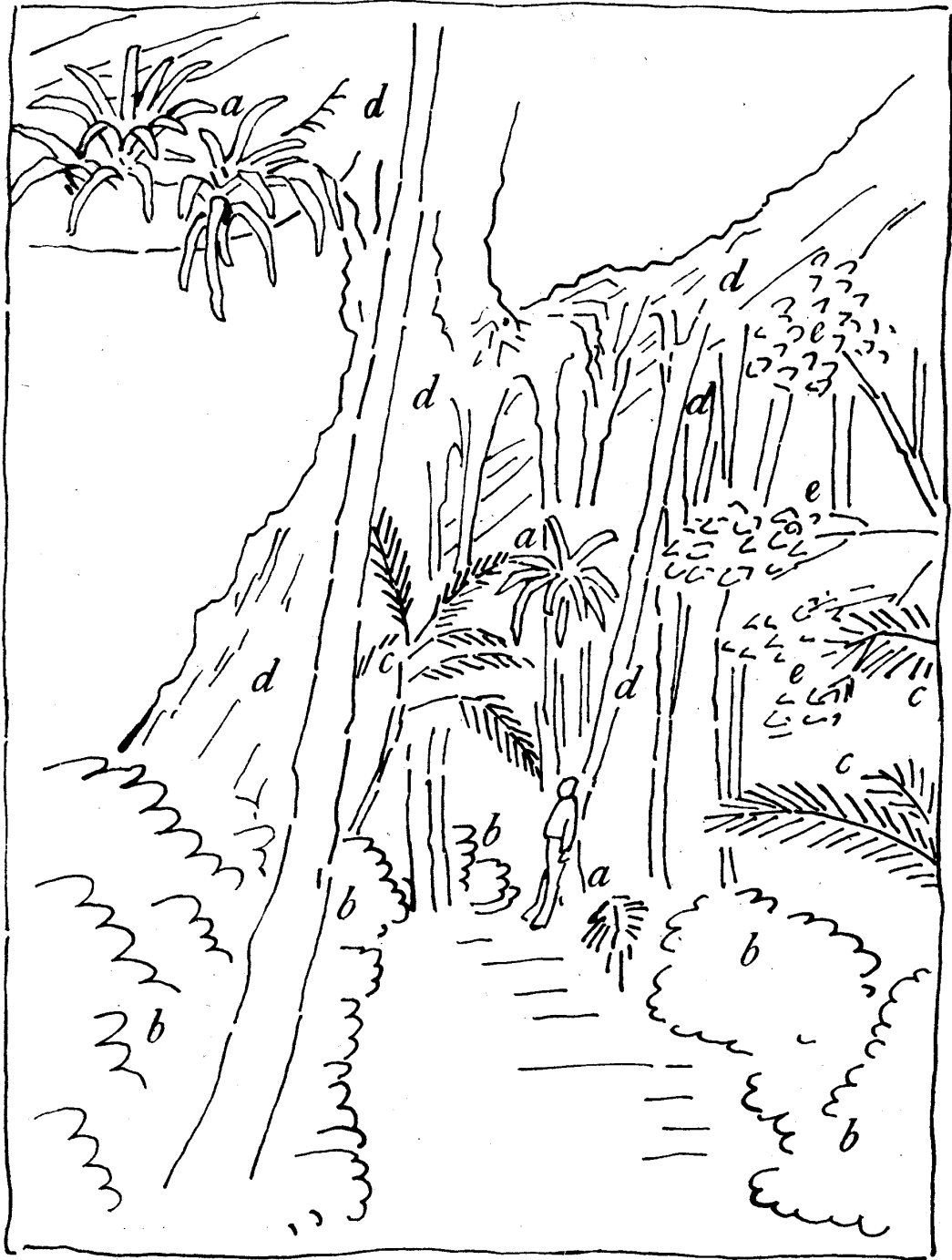
一、中之島産自生植物中 (129) *Plantanthena tentaculata*, var. *acutifolia*, HAYATA. トアルハ *Halimnaria tentaculata*, REICH. var. *acutifolia*, HAYATA. ト訂正ス。

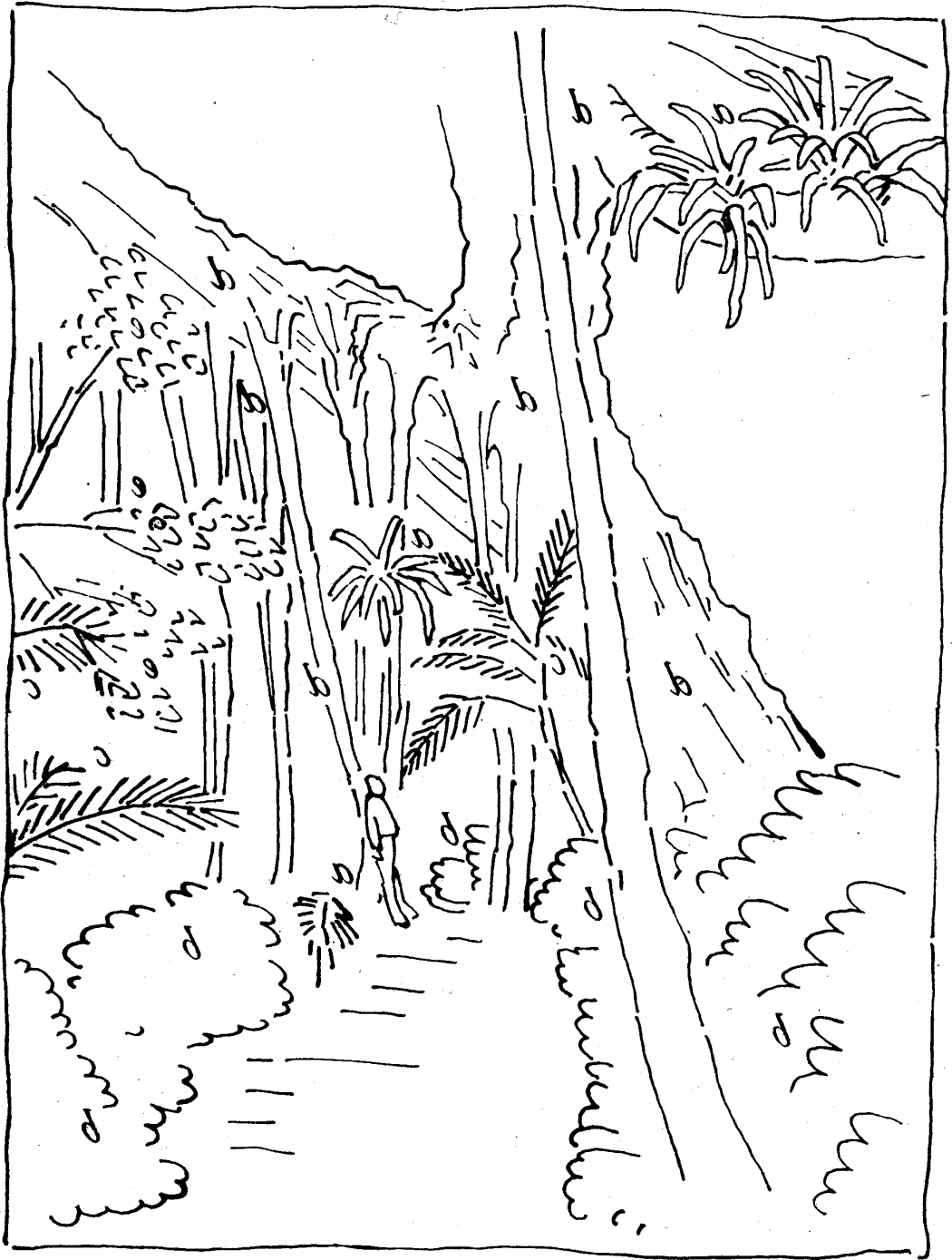
二、中之島産自生植物中 (87) *Scirpus* sp. ハ其後早田博士ヨリ *Cladium glomeratum*, R. Br. (わわんぺら) ナルコトヲ報ゼラレシヲ以テ茲ニ之ヲ補正シ、重ネテ同博士ニ謝意ヲ表ス

中之島ノ鬱林（海岸ニ稍近ク溪流ニ沿ヘル部分）

明治四十三年八月四日著者撮影。

- |  |         |
|--|---------|
| a. <i>Asplenium Nidus</i> , L.                               | おほたにわたり |
| b. <i>Angiopteris evecta</i> , HOFFM.                        | りうびんたい  |
| c. <i>Didymosperma Engleri</i> , WARB.                       | くろつぐ    |
| d. <i>Ficus retusa</i> , L. var. <i>nitida</i> , MIQ.        | がづまる    |
| e. <i>Thea japonica</i> , NOIS. var. <i>spontanea</i> , MAX. | やましばち   |







*S. Kawagoe photo.*